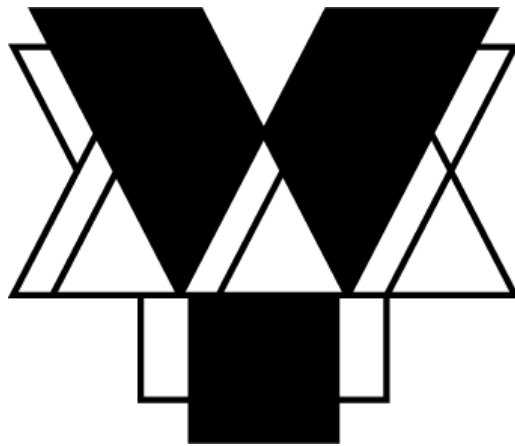


平成 28 年度

事業報告書



2017（平成29）年6月

公益財団法人 横浜市体育協会

【 目 次 】

はじめに	1
I 事業の状況	2
1 競技スポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号、第4号】	2
2 地域スポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号、第5号】	6
3 健康・体力づくり事業【定款第4条第1項第1号、第3号】	10
4 障害者スポーツ等支援事業【定款第4条第1項第5号】	12
5 スポーツ人材の養成・育成・活用事業【定款第4条第1項第1号、第4号】	13
6 スポーツの情報収集・提供／調査研究【定款第4条第1項第2号】	15
7 スポーツ施設運営事業【定款第4条第1項第5号及び第5条】	17
8 スポーツ団体等育成事業【定款第4条第1項第1号】	35
9 協会運営事業【定款第4条第1項第6号及び第5条】	36
II 処務の概要	38
1 評議員に関する事項（定款第11条関係）	38
2 評議員人事（定款第11条関係）	39
3 評議員選定委員会に関する事項（定款第12条関係）	39
4 評議員会に関する事項（定款第16・20条関係）	39
5 役員に関する事項（定款第22条関係）	40
6 役員人事（定款第22条関係）	40
7 理事会に関する事項（定款第31・32・35条関係）	41
8 職員に関する事項（定款第42条関係）	41
9 委員会（定款第43条関係）	42
10 連絡協議会（定款第43条関係）	42
11 加盟団体（定款第44条関係）	43
12 各種表彰（定款第4条関係）	44
13 平成28年度賛助会員（定款第45条関係）	47
III 資料（施設別月別利用状況）	50

はじめに

公益財団法人横浜市体育協会では、平成 28 年度においても、「いつまでもスポーツが楽しめる 明るく豊かな社会の実現」に向け、加盟する 74 の競技団体、学校団体、地域団体及び体育団体の皆様と力を合わせ、市民の皆さまのスポーツの参加機会の拡大と、地域のスポーツ活動の促進のために、主に次のような事業に取り組んでまいりました。

- ① 加盟団体である競技種目団体、地域団体、学校関連団体及びレクリエーション団体と連携し、市民体育大会等の開催や、地域のスポーツ振興を図り、多くの市民・区民の方々にスポーツ活動の機会の提供を行いました。
- ② 当協会の自主運営施設である神奈川スケートリンク（愛称:横浜銀行アイスアリーナ）は、リニューアルオープン後 2 年目となりました。教室やイベントを充実させ、より多くの市民の方々にアイススケートを楽しんでいただきました。
- ③ 横浜の風景を彩る「2016 世界トライアスロンシリーズ横浜大会」などの大規模スポーツイベントの開催をはじめ、「YOKOHAMA ビーチスポーツフェスタ」「よこはまシティウォーク」など、多種多様なスポーツイベント事業を展開し、多くの選手や市民の方々に、スポーツの楽しさ・素晴らしさを体験していただきました。
- ④ 平成 28 年度から新たに管理施設に加わった緑・泉のスポーツセンターや三ツ沢公園のほか、合計 28 の指定管理施設の運営を行いました。そのほかに、プールやテニスガーデンなどの各種スポーツ施設の管理運営を行い、たくさんの市民の方々にご利用していただきました。

平成 28 年度の事業を通して、より多くの市民の皆さまがスポーツに親しみ、楽しみ、そして健康増進が図られる環境づくりを進展させることができたものと自負いたします。

私たちはこれからも、さらに多くの横浜市民の皆さまが、スポーツを通じて明るく豊かな生活を享受できるよう、さまざまな事業を展開してまいります。

I 事業の状況

1 競技スポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号、第4号】

(1) 競技スポーツ助成事業

競技種目団体と共に横浜市民体育大会・横浜市民マスターズスポーツ大会、各区交流スポーツ大会等各種大会を開催するとともに、横浜マラソン 2017 プレイベントや 2016 世界トライアスロンシリーズ横浜大会など、大規模なイベントも加盟団体と綿密に連携し、市民の競技スポーツ活動の機会を提供する事業を実施しました。

また、ジュニア期の競技力向上を図るため、ジュニアスポーツ選手の競技力向上に向けて事業を実施しました。

ア 横浜市民体育大会

競技種目団体が主管し大会運営を行い、スポーツ交流を通じて、スポーツ振興とアマチュア・スポーツ精神の高揚を図りました。

実施競技数	35 競技
参加人数	39,429 人

種目	テニス	軟式野球	ソフトボール	ラグビー	弓道	バレーボール	馬術
参加人数	3,595 人	600 人	4,780 人	534 人	265 人	1,100 人	138 人
種目	陸上	バスケットボール	ボクシング	アーチェリー	ソフトテニス	ウェイトリフティング	相撲
参加人数	2,830 人	3,500 人	38 人	334 人	5,288 人	25 人	38 人
種目	体操	少林寺拳法	空手道	卓球	ハンドボール	レスリング	剣道
参加人数	417 人	118 人	3,952 人	1,437 人	880 人	66 人	134 人
種目	綱引	水泳	バドミントン	インディアカ	サッカー	カヌー	ダンススポーツ
参加人数	1,213 人	2,657 人	2,279 人	654 人	1,300 人	中止	308 人
種目	ボウリング	スキー	なぎなた	パワーリフティング	日本拳法	ボート	スポーツチャンバラ
参加人数	51 人	254 人	137 人	85 人	17 人	225 人	180 人

イ 横浜市民マスターズスポーツ大会

競技種目団体が主管し大会運営を行い、中高年層のスポーツ交流を通して、市民スポーツの振興と健康増進を図りました。

実施競技数	26 競技
参加人数	9,136 人

種目	テニス	軟式野球	ソフトボール	ラグビー	弓道	陸上	ゲートボール	バスケットボール
参加人数	49人	960人	800人	180人	132人	156人	440人	500人
種目	ソフトテニス	相撲	少林寺拳法	空手道	卓球	ハンドボール	剣道	水泳
参加人数	114人	7人	6人	53人	283人	680人	144人	2,074人
種目	ボート	インディアカ	サッカー	ダンススポーツ	ボウリング	スキー	グラウンドゴルフ	体操
参加人数	472人	147人	1,247人	180人	35人	45人	386人	3人
種目	スポーツチャンバラ	パワーリフティング						
参加人数	19人	24人						

ウ 各区交流スポーツ大会

各区体育協会及び競技種目団体と連携し、市内18区間のスポーツ交流大会を実施しました。

種目	卓球	軟式野球	ゲートボール	ソフトテニス	
参加人数	270人	450人	270人	120人	
種目	バドミントン	インディアカ	弓道	ボウリング	合計
参加人数	220人	135人	133人	112人	1,710人

エ 第13回都市間交流スポーツ大会

今年度は横浜が開催市となって、他の市体育協会（大阪市、京都市、神戸市、名古屋市）と協力して都市間交流スポーツ大会を開催しました。

◆開催日：7月2日（土）～7月17日（日）

◆開催市：横浜市

第13回都市間交流スポーツ大会	参加選手	日程	会場
1 ソフトテニス	140人	7/9(土)、10日(日)	三ツ沢公園
2 バスケットボール	162人	7/9(土)、10日(日)	横浜文化体育館
3 軟式野球	117人	7/9(土)、10日(日)	関東学院大学野球場
4 バドミントン	43人	7/17(日)	平沼記念体育館
5 弓道	45人	7/9(土)、10日(日)	県立武道館
6 相撲	21人	7/9(土)、10日(日)	IHI横浜事業所 相撲場
7 テニス	65人	7/9(土)、10日(日)	本牧市民公園
8 ソフトボール	106人	7/9(土)、10日(日)	保土ヶ谷公園 軟式野球場
9 ハンドボール	81人	7/2(土)	平沼記念体育館
10 ボウリング	40人	7/10日(日)	ハマボウル
12 ホッケー	79人	7/9(土)、10日(日)	慶應義塾大学日吉ホッケー場
11 空手道	86人	7/3(日)	神奈川スポーツセンター
13 家庭婦人バレーボール	75人	7/9(土)、10日(日)	平沼記念体育館
合計	1,060人		



弓道



ホッケー

(2)大規模スポーツイベントの開催

実行委員会により実施された大規模スポーツイベントの企画・実施・運営を行いました。

ア 2016 世界トライアスロンシリーズ横浜大会 (5 月)

山下公園をスタート、フィニッシュ地点とした特設コースで実施しました。

部門	【エリート/ エリートパラトライアスロン】 世界のトップアスリートによる 世界最高峰の国際大会	【エイジ】 都市型トライアスロンとして 日本最大規模の一般大会
開催日	5月14日(土)	5月15日(日)
コース	山下公園、日本大通り、 赤レンガ、大さん橋	山下公園、山下ふ頭、 象の鼻パーク
出走者数	181人 ※エリート:125人 ※エリートパラ トライアスロン:56名	1,475人
参加国数	44の国及び地域	
観戦者数	412,000人(大会2日間)	



2016 世界トライアスロン
シリーズ横浜大会

イ 第7回横浜シーサイドトライアスロン大会 (9月)

八景島シーパラダイスをスタート、フィニッシュ地点とした市民参加型の大会を実施しました。

開催日	9月25日(日)
コース	横浜・八景島シーパラダイス、金沢工業団地周辺
出走者数	808人
観戦者数	14,500人



第7回横浜シーサイド
トライアスロン大会

ウ 横浜マラソン2017開催準備

「横浜マラソン 2017」は、開催を春から秋に移行し、本年10月29日に開催されます。また、ランナー枠も3,000人拡大して28,000人で実施します。

今年度は、大会開催に向けた関係諸機関等との調整をはじめ、開催機運を盛り上げるため、開催1年前イベントを含めた計2回のプレイベントを実施しました。当日は、子どもから大人まで多くの方々に参加していただきました。

イベント名	横浜マラソン 2017 開催 1 年前イベント 「1/X フルマラソン」
開催日	10月10日(月・祝)
会場	日産フィールド小机
開催内容	フルマラソンの10分の1、100分の1、1000分の1の距離を走って、フルマラソンのバーチャルタイムを算出する
参加人数	合計 1,159人(ボランティア等80人含む)
ゲスト・MC	げんき〜ず・フランキー・アホマイルド坂本(吉本興業) 岡村帆奈美(tvkアナウンサー)



1/X フルマラソン

イベント名	横浜マラソン 2017 大会エントリー直前イベント 「チャレンジ 2 時間ラン」
開催日	3 月 19 日(日)
会場	臨港パーク
開催内容	1 周約 1.6km のコースを 2 時間で走った周回数を記録とする
参加人数	合計 1,101 人(ボランティア等 110 人含む)
ゲスト・MC	谷原章介・三浦大輔(大会アンバサダー) げんき〜ず・すゑひろがりず(吉本興業) 坂本雄次(大会プロデューサー) 岡村帆奈美(tvk アナウンサー)



チャレンジ 2 時間ラン

(3) スポーツ大会派遣事業

当協会主催以外の大会に関する選手・団体の選考、派遣を行いました。

ア 第 71 回市町村対抗「かながわ駅伝」競走大会(2 月)

開催日	2 月 12 日(日)
対象	横浜市選抜チーム
コース	泰野市カルチャーパーク～厚木市合同庁舎～相模湖公園:7 区間 51.5km
派遣人数	選手・役員 41 人
成績	1 位(2 年連続 40 回目の優勝)

イ 第 29 回全国健康福祉祭大会(ねんりんピック)ながさき大会参加選手選考会

ねんりんピックながさき大会への参加者選出にあたり、競技種目団体ごとの代表選手の選考会を開催しました。

実施競技	卓球・テニス・ソフトテニス・ソフトボール・弓道・剣道・サッカー・ダンススポーツ
選考会参加人数	8 種目 798 人(含む本大会参加者 69 人)

【選考会参加者内訳】

種目	卓球	テニス	ソフト テニス	ソフト ボール	弓道	剣道	サッカー	ダンス スポーツ
参加人数	9 人	22 人	16 人	320 人	80 人	113 人	120 人	118 人

(4) 競技選手の個別支援

国体参加選手のメディカルチェック、競技選手のスポーツプログラムサービス、体力測定、スキルチェック等を行うとともに、合同強化練習や医科学サポート、医科学研修など、ジュニア選手の競技力向上に向けた事業を実施しました。

2 地域スポーツ推進事業【定款第4条第1項第1号、第5号】

(1) 地域スポーツ支援事業の実施

ア 各区体育協会との連携の強化

日頃から地域に密着した活動を行っている区体育協会と連携・協力して、区民のスポーツ大会や各種教室など、広く一般区民を対象とした公益的スポーツ事業を支援し、地域のスポーツ振興を図りました。

◆各区体育協会の主な公益的事業

鶴見区	鶴見川クリーンアップ大作戦、つるみ臨海フェスティバル
神奈川区	各種目協会による講習会、教室事業等
西区	月曜リフレッシュ体操教室
中区	こどものあそび場スタンプラリー、笑顔スポーツフェスタ、 中区ウォーク&健康フェスティバル
南区	いきいきふれあい南なんデー、みなっちランニングフェスタ、みなっちスポーツフェスタ
港南区	小学生陸上教室、スポーツ・エンジョイ・フェスティバル、こども体操教室、 スポーツ指導者対象講習会(AED)
保土ヶ谷区	各種目協会による講習会、教室事業等
旭区	救命応急手当講習会、旭区駅伝大会、旭区スポーツ人の集い
磯子区	各種目協会による講習会、教室事業等
金沢区	金沢区体育協会スポーツフェスティバル
港北区	港北区小学生スポーツフェスティバル、港北区スポーツシンポジウム
緑区	みどりスポーツフェスティバル、緑区民まつり、緑区スポーツ人の集い
青葉区	青葉ふれあいまつり、青葉区民マラソン、青葉区民まつり(スポーツゾーン)、青葉スポーツフェスタ、青葉区スポーツ人の集い
都筑区	都筑区民まつり
戸塚区	横浜三塔と西洋館を巡るウォーク
栄区	区制30周年記念栄区・泉区ウォーク、栄区民スポーツフェスティバル、てくてくウォーク 栄、栄区民ロードレース大会
泉区	各種目協会による講習会、教室事業等
瀬谷区	瀬谷区スポーツフェスタ

イ 総合型地域スポーツクラブの支援

身近な場所で世代を問わず、誰もが気軽にスポーツができる環境づくりを目指す総合型地域スポーツクラブの設立・育成の支援を行いました。また、総合型地域スポーツクラブ連絡協議会による開港祭やしんよこはま☆キッズパークプロジェクトなどのイベント等における活動を支援しました。

特に、既存クラブの継続的な運営をめざし、総合型地域スポーツクラブ啓発事業として、認知度向上事業及びヒヤリング事業を実施しました。

また、平成28年度は、新規2クラブ（鶴見区：KAZUスポーツクラブ、旭区：NPOスポーツコミュニティ・シュート）の設立・支援を行いました。

◆総合型地域スポーツクラブ一覧（合計26クラブ）

鶴見区	鶴見スポーツ&カルチャークラブ、KAZUスポーツクラブ
神奈川区	NPO 横浜かもめ anima クラブ、はざわクラブ、まる倶楽部、NPO かながわクラブ、 NPO ライフネットスポーツクラブ
中区	NPOFCゴール、NPO 横浜スポーツ&カルチャークラブ
南区	弘明寺くらぶ

保土ヶ谷区	カンガルークラブ、あ☆らいぶ(新井中学校文化・スポーツクラブ)、横浜 FC 総合型地域スポーツクラブ
旭区	NPO 若葉台スポーツ・文化クラブ、NPO スポーツコミュニティ・シュート
金沢区	金沢スポーツクラブ、NPO 横濱ラグビーアカデミー
緑区	やましたスポーツ・文化クラブ、NPO CLUB TEATRO
青葉区	くろがね倶楽部、NPO わくわく教室
都筑区	都筑スポーツプランナー竹の子会
戸塚区	クローバースポーツクラブ
栄区	NPO さかえスポーツくらぶ
泉区	緑園スポーツ・文化クラブ、NPO 葛野スポーツクラブ

◆総合型地域スポーツクラブ啓発事業

認知度向上事業	認知度を向上させるため、67,350 枚の新聞折り込みチラシを作成、配布しました。
ヒヤリング事業	平成 26、27 年度に各クラブの経営状況や事業の調査を実施しました。平成 28 年度は、調査結果を参考に具体例を盛り込んだ資料集の作成を進め、平成 29 年度に発行を予定しています。

ウ ヨコハマさわやかスポーツの実施

子どもから高齢者まで、誰でも気軽に行えるさわやかスポーツ（ソフトバレーボール・グラウンドゴルフ等）の普及事業を全区で展開し、ニュースポーツの普及・推進を図りました。

また、11月3日（木・祭日）に、山下公園において行われた「YOKOHAMA スポーツ・健康美祭 2016」において、全市的なイベントを実施しました。

◆さわやかスポーツ普及活動の実績（全市合計）

事業名	開催回数	延べ参加人数
全市的イベント	3 回	1,812 人
地区活動	7,441 回	162,093 人
各区大会	29 回	3,814 人
各区フェスティバル	49 回	17,108 人
講習会	50 回	1,816 人
その他	1,874 回	122,199 人
普及委員会	130 回	1,860 人
合計	9,576 回	310,702 人



さわやかスポーツ

エ 横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開催（10月体育の日ほか）

各区スポーツセンター、市内の野外活動施設及び大規模施設等において、市民が気軽に各種スポーツに参加できる「横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル 2016」を開催しました。10月10日（月・祝）には、新横浜公園等を会場として中央イベントを実施しました。

開催日	9月19日(月・祝)～11月26日(土)
開催会場	37会場(関連イベント含む) 新横浜公園(日産スタジアム含む)、18スポーツセンター、野外活動施設、横浜文化体育館、横浜国際プール等
参加人数	64,214人(含む関連イベント:3,068人)

オ 地元プロスポーツチームの支援

次代を担う青少年に夢や目標を与え、市民の連帯感の醸成と地域の活性化、市民が誇れるプロスポーツチームが育つ街を実現することを目的とした横浜熱闘倶楽部の事業に協力し、地元プロスポーツチーム（横浜 DeNA ベイスターズ、横浜 F・マリノス、横浜 FC、横浜ビー・コルセアーズ）のポスター・チラシの配布や当協会管理施設でのユニホーム着用などの広報支援等を行いました。



スポーツセンター受付の様子

(2)スポーツイベントの実施

スポーツの普及振興を図るため、次の事業を実施しました。

ア FANCL フィットネスヨコハマ(5月)

アマチュアダンス団体を対象に大観衆を前にスポットライトを浴びる舞台を提供し、日ごろの練習の成果を発表してもらおうダンスイベントを実施しました。

開催日	5月5日(木・祝)
開催会場	パシフィコ横浜 国立大ホール
参加人数	6,510人 (出演団体 49 団体 1,491 人 観覧者 5,019 人)



FANCL フィットネスヨコハマ 2016

イ YOKOHAMA ビーチスポーツフェスタ(7月～8月)

横浜で唯一の海水浴場である海の公園（金沢区）において、砂浜で実施するビーチスポーツの普及と市民スポーツの普及を図ることを目的として開催しました。

開催日・種目	7月30日(土)・31日(日)	ビーチハンド、 ビーチテニス
	8月6日(土)・7日(日)	ビーチバレー、 ビーチサッカー
開催会場	金沢区海の公園	
参加人数	ビーチバレー	1,530人
	ビーチサッカー	409人
	ビーチハンド	1,340人
	ビーチテニス	130人
	ビーチフラッグス	26人
	ビーチ宝探し	163人
	ビーチ輪投げ	201人
	ビーチ綱引き	0人
	ビーチクリーン活動	440人
	大会観覧者・関係者	3,750人
	合計	7,989人



ビーチフラッグス



ビーチバレー

ウ ヨコハマ・ワールド・ウォーク(11月)

家族や仲間とウォーキングイベントに参加する機会を提供することで、市民の健康づくりを推進することを目的として開催しました。

開催日	11月3日(木・祝)	参加人数	1,388人
開催会場	馬車道駅(スタート・ゴール)山下、みなとみらい地区		



ヨコハマ・ワールド・ウォーク2016

エ YOKOHAMA スポーツ健康美祭(11月)

「動く・食べる・磨く」をテーマに健康づくりのきっかけの場を提供するため、健康美促進のための各種出展ブース、スポーツ体験コーナーを実施しました。

開催日	11月3日(木・祝)	参加人数	4,162人
開催会場	山下公園		



YOKOHAMA スポーツ健康美祭

オ YOKOHAMA ナイトウォーク(3月)

3ヶ所あるスタート地点のうち好きなスタート地点で受付し、横浜の夜景を眺めながら、ゴールを目指すウォーキングイベントを実施しました。

開催日	3月4日(土)	参加人数	318人
開催会場	スタート:ランドマークプラザ、横浜スタジアム(横浜公園)、横浜マリンタワー ゴール:ランドマークプラザ		



YOKOHAMA ナイトウォーク

カ 第27回よこはまシティウォーク(3月)

距離の異なるコースを設定し、ウォーキング初心者から愛好者まで幅広い市民が参加できるウォーキングイベントを実施しました。

開催日	3月20日(月・祝)	申込者数 (当日参加人数)	3,158人 (3,031人)
開催会場	馬車道駅(スタート・ゴール)、横浜銀行アイスアリーナ、平沼記念体育館、野毛山公園、他		



第27回よこはまシティウォーク

3 健康・体力づくり事業【定款第4条第1項第1号、第3号】

(1) 子どもの体力向上事業

子どもの体力向上や健康づくりを図るため、授業内外での運動・スポーツ活動を支援するとともに、当協会管理施設での幼児・児童などを対象とした教室事業の開催や横浜市の事業にも積極的に協力して、事業に取り組みました。



保育園指導

ア 子どもの体力向上支援

保護者や地域指導者などと協力し、保育園や小学校等で幼児・児童向けの体力向上支援や保育士・保護者等を対象とした運動啓発など、子どもの体力向上（小学校向け：いきいきキッズ事業、保育園向け：はつらつキンダー事業）に資する事業を展開しました。

- 「いきいきキッズ事業」実績
 延実施校：177校、実施回数：707回
 児童参加人数：延 71,950人、協力者：教員、保護者、地域住民、外部指導者：延 5,105人
- 「保育園訪問運動指導（はつらつキンダー事業）」実績
 延実施園数：88園
 幼児参加人数：4,767人

イ スポーツ少年団

市内のスポーツ少年団を対象に、研修・交流事業、顕彰事業、市民向け事業、を行いました。また、一般の方も参加無料でジュニアスポーツ体験会を実施しました。

- スポーツ少年団登録数
 サッカーほか 12競技 32団体
 指導者数：128人 団員数：603人



スポーツ少年団の活動の様子

ジュニアスポーツ体験会

開催日	2月19日(日)
開催会場	神奈川スポーツセンター
種目	タグラグビー・スポーツチャンバラ・ブラインドサッカー・空手の型・組手披露
参加者人数	少年団 49名 一般 13名

ウ 学校部活動支援事業

市内の小中学校にオリンピック、パラリンピアンを派遣しました。また、今後の同事業実施に向けて、加盟団体及び市内中学校へのアンケート結果をもとに、派遣システムの仕組みづくりについて教育委員会と連携を図り検討しました。

◆オリンピック・パラリンピアン派遣実績

実施日	5月20日(金)～1月17日(火) ※延べ実施日数 10日
会場	市内小学校
参加人数	5,274人(10校)

エ ジュニア陸上競技教室

市内の小学生、中学生、高校生を対象に参加者のレベルにあった種目別練習とし、陸上競技の楽しさを理解してもらえよう教室を実施しました。

実施日	4月17日(日)～9月19日(月・祝) ※全5回
会場	三ツ沢公園陸上競技場
参加人数	3,147人

オ よこはまこどもマリンスクール事業

32年目となる平成28年度も、市内の小学4～6年生を対象に、やさしく、強い“はまっ子”を育てることを目的として、実施しました。

日本丸や南伊豆臨海学園などの海に関する施設で、日常とは異なる集団生活による船員活動体験や海・船に関する学習、カッター訓練、横浜水泳協会と連携した遠泳等を通じて1年間の体験・レクリエーション活動を行いました。

実施日	5月8日(日)～3月12日(日) ※延べ活動日数22日
会場	日本丸・野島公園・南伊豆臨海学園等
参加人数	176人



マリンスクール カッター訓練の様子

(2)健康づくり支援事業

超高齢社会の中、元気な高齢者を増やし、高齢になっても生き活きとした生活を維持することができる環境を整え、スポーツ・運動を習慣化するために各種事業を実施しました。

ア 健康づくり派遣指導事業(参加者数 25,404人)

「身近な地域における健康づくり」をキーワードに、①日常的な運動習慣を習得できるプログラムの提供②地域と協働した健康づくりを主軸として、当協会職員を派遣し、地域に根差した指導を推し進めていきました。また、横浜市健康福祉局からの介護予防関連事業(元気づくりステーション等)にも積極的に協力し、市民の健康づくりを図りました。

イ 健康づくり教材開発・販売事業

横浜市のご当地体操として当協会が開発した「はまちゃん体操」を普及啓発するため、各種教材(DVD・アプリ・CD・テキスト等)*を販売しました。

※DVD及びアプリは、平成28年度末をもって販売終了しています。

◆教材販売実績(平成28年度)

DVD	2枚	CD	12枚
テキスト	26冊	アプリ	34ダウンロード
介護予防運動テキスト	19冊		

ウ 健康づくりサービス事業(参加者数 2,718 人)

当協会の管理運営施設や、区役所、地域施設、地域団体等が主催する「スポーツ事業」「健康づくり事業」において、姿勢や筋力余裕度などの各種測定を実施し、地域の健康づくりを図りました。

◆各種測定実績

測定内容	人数
姿勢測定	1,271 人
筋力余裕度測定	905 人
一般体力測定	542 人
合計	2,718 人



姿勢測定結果票

エ 協会認定指導者育成事業(参加予定人数 57 人)

スポーツ医科学センターや関係各機関と連携しながら、地域指導者を育成し、協会認定指導者として認定しました。平成 28 年度は、「横浜姿勢歩行運動指導員認定講座」を開設し、認定した指導者は、体育協会管理施設を中心に地域でのスポーツ指導に積極的に活用するために人材登録をしていただきました。

講習会名	実施日	会場	参加者数
横浜姿勢歩行運動指導員(第 1 回目)	12/17,18,1/14,15	事務局地下会議室	29 人
横浜姿勢歩行運動指導員(第 2 回目)	2/11,12,3/11,12	事務局地下会議室	28 人

(3)生活習慣病予防事業

メタボリック症候群、ロコモティブ症候群の予防のための生活指導、栄養指導、運動指導等のメディカルエクササイズコース、減量教室・ロコモ教室をスポーツ医科学センターで行いました。

4 障害者スポーツ等支援事業【定款第 4 条第 1 項第 5 号】

(1)横浜子どもスポーツ基金活用事業

「横浜子どもスポーツ基金」を活用し、横浜のプロチーム等と連携して、障害のある子どもたちへ観戦・交流事業やイベント交流事業、普及・啓発事業等を実施しました。

ア 観戦・交流事業

子どもたちを横浜のプロスポーツチームのホームゲームに招待しました。観戦前に応援歌やダンスなどの指導を受け、観戦を通じて、スポーツの感動や会場の臨場感を体験し、スポーツを楽しむ心を育みました。

◆参加者数・・・1,170 人(10 件)



横浜 DeNA ベイスターズ
観戦交流事業

イ スポーツ・イベント交流事業

養護学校に通う子どもたちが、オリンピックによる走り方教室や横浜銀行アイスアリーナで開催されたスペシャルオリンピックス日本のイベントなどに参加することで、スポーツに対する興味・意識の向上を図りました。

◆参加者数・・・2,223人（19件）



横浜銀行アイスアリーナで行われた「スペシャルオリンピックス日本ユニファイドイベント」

(2)障害者スポーツ団体との連携強化

横浜ラポールや特別支援学校、特定非営利活動法人等と連携を図り、横浜こどもスポーツ基金の事業を円滑に進めました。

5 スポーツ人材の養成・育成・活用事業【定款第4条第1項第1号、第4号】

地域スポーツ指導者の養成・活用事業を実施しました。また、競技スポーツの指導者養成事業やジュニアスポーツの指導者養成事業を進めました。

(1)地域スポーツ指導者養成・活用事業の実施

地域や各種目で活動できるスポーツ指導者を養成するために、各種講座や研修会を開催しました。

ア 横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座の開催

講習会名	実施日	会場	参加者数
スポーツリーダー養成講座	6月4・5・11日	スポ医科	57人
健康・体づくりインストラクター養成講座	6月18日～11月19日	スポ医科	25人
地域クラブアシスタントマネージャー養成講座(日体協公認)	7月2日～10月8日	スポ医科他	14人
アウトドアルーダー講座(野外活動指導者養成講座)	6月4日～12月11日	市内野外活動センター他	10人
楽しいをつくるレクリエーション人材養成講座	6月11日～1月21日	横浜市体育協会会議室他	11人
地域スポーツ研修	7月16日他(全3回)	スポ医科他	107人

上記のほか、登録者の指導技術向上のため、地域スポーツ指導者の全体研修（講習会・実技研修）を3回実施しました。

イ 地域スポーツ指導者の活動促進

地域のスポーツ指導者を活用する「横浜市スポーツ人材活用システム」を引き続き運用し、地域のスポーツ・健康づくり事業で多くの地域スポーツ指導者が活動できる環境をつくりました。

◆横浜市スポーツ人材活用システム活動実績

活動登録者数	222人
活用件数(延べ)	5,597件
指導対象者数(延べ)	147,125人

(2)指導者技術向上補助事業の実施

指導者や審判員の水準を高めるため、各加盟団体が主体となり事業を実施しました。

実施団体	参加者数	実施団体	参加者数
横浜市インディアカ協会	22人	横浜市ダンススポーツ連盟	80人
横浜市空手道連盟	42人	NPO法人横浜ソフトテニス協会	34人
横浜市カヌー協会	17人	神奈川区体育協会 (ダンススポーツ)	200人
横浜市卓球協会	149人	泉区体育協会 (バスケットボール、ソフトボール)	91人
横浜市バドミントン協会	256人	中区体育協会 (空手道)	25人
横浜スキー協会	59人		
横浜市グラウンド・ゴルフ協会	106人		

(3)ジュニア競技力向上事業

ジュニアスポーツ選手の競技力向上を目的に次の事業を実施しました。

ア 合同強化練習会への支援

競技団体の開催する強化練習会に助成をしました。

項目	内容
実施団体	17競技団体
総参加者数	1,740人
対象	各競技団体加盟の小・中・高校生

イ スポーツ医科学に基づくサポートプログラム

横浜市スポーツ医科学センターと連携し、スポーツ医科学に基づいた測定・指導等を行い、ジュニア選手の競技力向上を図りました。

また、競技指導者の能力向上を図るための医科学研修を開催しました。

①ジュニア医科学マルチサポート

種目	延べ参加者数
空手	100人
体操	25人

②スポーツ医科学研修の開催

開催日	2月5日(日)～3月25日(土) 全5回
テーマ	中学生期の部活動指導講座 「～一流の指導者は子どもたちのここを見ている～」ほか4回
対象者	横浜市内在住・在勤・在学の指導者、選手、保護者
参加人数	合計163人
講師	福間博樹氏(陸上)、星澤純一氏(バスケット)ほか

③未来のスポーツリーダー養成講座

開催日	11月13日(日)、3月19日(日) 全2回
テーマ	少年サッカー選手のためのケガ予防講座、オリンピック選手によるバスケットボール教室
対象者	横浜市内在住・在学の小・中・高校生選手
参加人数	合計150人
講師	下平匠氏(横浜F・マリノス)、町田瑠唯氏、長岡萌映子氏(富士通レッドウェーブ)

6 スポーツの情報収集・提供／調査研究【定款第4条第1項第2号】

(1) スポーツ情報の収集・提供

ア スポーツ情報センターの運営

市民にとって有益なスポーツ情報を幅広く提供するため、インターネットでの情報提供を中心として、スポーツ情報センターの運営を行いました。

◆問合せ件数

電話	窓口	メール	合計
595件	11件	34件	640件

イ スポーツ情報サイト「ハマスポ」の運営

◆アクセス数実績・・・1,894,491件

◆主なコンテンツ

「読む」 コンテンツ	・市内スポーツイベント等のお知らせ・レポート記事(220件) (各プロスポーツチームの地域貢献事業、地域でのスポーツ活動、世界トライアスロンシリーズ横浜大会、横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル、ヨコハマシティウォーク等) ・著名人コラム(執筆者:あんどうたかお氏、苅部俊二氏、えのきどいちろう氏各毎月1回) ・「SPORTSよこはま」の電子版				
「健康づくり」 コンテンツ	・「ハマスポエクササイズ」(動画で運動方法を解説) ・ウォーキングコース情報(224件)				
「探す」 コンテンツ 保有情報 件数	施設情報 1,981件	サークル情報 69件	指導者情報 34件	イベント情報 1,015件	合計 3,099件

ウ スポーツ情報誌「SPORTS よこはま」の発行

スポーツへの関心を高める情報や季節に即した健康増進のためのテーマに基づいて編集した、スポーツ情報誌「SPORTS よこはま」を発行しました。

競技種目の特集記事や地域のスポーツ情報掲載にあたっては、各競技種目団体や各区体育協会に執筆依頼をするとともに、取材協力を得て記事を作成しました。

◆「SPORTS よこはま」概要

発行部数	30,000部／1回
配布先	1,298箇所(市内駅PRボックス、銀行、郵便局、公共機関など)
ページ数等	6・8・10・12・2月号…16ページ(フルカラー)、4月号…24ページ(フルカラー)

◆主な掲載内容

<ul style="list-style-type: none"> ・市体協加盟団体(区体協)の協力による記事掲載や各団体主催イベント等の事業紹介や報告 ・市体協関連イベントの紹介・報告 ・横浜熱闘倶楽部4チームの事業紹介や関連イベントの案内 ・新横浜公園等施設やリオデジャネイロオリンピック・パラリンピック等時節に則した事柄や種目に関する特集記事の掲載 ・ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックなど、横浜で開催される大規模イベントの紹介 ・スポーツイベントカレンダー ・スポーツ医科学センターによる子どもの健康・体力づくりの掲載 ・市内公共スポーツ施設情報の掲載 ・連載「夢を信じて」の掲載

◆特集と加盟団体に協力を得た主な記事

6月号 (5/20発行)	・特集:スポーツいっぱい自然がいっぱい新横浜公園 ・各区体育協会事業紹介【青葉区・旭区・磯子区】
8月号 (7/20発行)	・特集:この夏横浜からリオを舞台に!! ・各区体育協会事業紹介【都筑区・瀬谷区・金沢区】
10月号 (9/20発行)	・特集:横浜元気!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル 2016 ・各区体育協会事業紹介【港北区・泉区・栄区】
12月号 (11/20発行)	・特集:横浜のラグビー新時代 ・各区体育協会事業紹介【鶴見区・西区・中区】
2月号 (1/20発行)	・特集:東京2020 追加競技紹介 ・各区体育協会事業紹介【神奈川区・保土ヶ谷区・南区】
4月号 (3/20発行)	・特集:前シーズンを超える 横浜の4プロスポーツチーム ・平成27年度横浜スポーツ表彰



(2)スポーツに関する調査研究

横浜市に居住する満20歳以上の男女（外国人登録者を含む）個人1,600人を対象に、「市民スポーツ意識調査」を実施し、集計・分析を行いました。

- 【対象者】横浜市に居住する満20歳以上の調査機関登録者の男女個人1,600人
 【抽出方法】性別・年齢・居住区の構成比を基に、有意抽出方法(割り当て法)により抽出
 【調査方法】インターネットによるアンケート調査
 【調査期間】配信日:平成28年10月12~18日【回収状況】有効回答数1,600件
 【報告書】:平成29年3月発行
 【主な結果】
- 週1日以上スポーツ実施率は52.6%(前回+3.3ポイント)、週3日以上は26.8%(前回+3.4ポイント)に伸びるも、若い世代では「実施頻度」が伸び悩み、実施状況への「不満足傾向」は増加
 (国)スポーツ基本計画・(市)スポーツ推進計画目標:週1以上は65%、週3以上30%
 - 時代とともに変化する子どものスポーツ実施種目「テニス」(18.3%)>「野球」(9.6%)
 - 1年間のスポーツ実施率は79.0%に達するも、現役世代との間にある「実施率の壁」最高は70代以上の89.0%、30代は最低の70.9% その差なんと18.1ポイント!
 - スポーツは「する」(30.9%)よりも「観る」(41.5%)方が好き
 - リオオリンピック・パラリンピックを6割がテレビで観戦するも、7割以上が「その後の行動に変化なし」
 - 約7割が「運動不足」を感じている
 - 健康寿命を延ばすためには、日常的に「歩きたい」と「食事に気をつけたい」等

(3)スポーツ医科学に関する情報の収集・提供及び調査研究

スポーツ医科学センター職員が、「ハマスポ」、「SPORTS よこはま」、「ハマふれんど NEWS」（横浜市勤労者福祉共済発行）などに、それぞれの専門領域のスポーツ医科学に関する情報を提供しました。

また、新聞・雑誌・テレビなどからスポーツ医科学の専門家として取材を受けるとともに、スポーツ障害と予防等に関する書籍の執筆や、日本体力医学会・日本整形外科スポーツ医学会学術集会・日本臨床スポーツ医学会学術集会などで学術発表を行いました。

7 スポーツ施設運営事業【定款第4条第1項第5号及び第5条】

スポーツ施設の管理運営を通じて、誰でも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできるように、スポーツ活動の場の提供や、スポーツ教室などの事業を行いました。

(1)スポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる場の提供事業

ア 指定管理施設の管理運営

横浜市スポーツセンター（16施設）、横浜市栄公会堂、横浜国際プール、横浜文化体育館、横浜市平沼記念体育館、横浜市青少年野外活動センター（3施設）、横浜市少年自然の家（2施設）、新横浜公園、三ツ沢公園、横浜市スポーツ医科学センターの各指定管理施設の運営を行いました。

イ その他のスポーツ施設の管理運営

屋外プール（1施設）、屋内プール（5施設）、テニスガーデン（3施設）、鶴見川漕艇場、横浜みなとみらいスポーツパーク、たきがしら会館、神奈川スケートリンクの各施設の運営を行いました。

(2)スポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできる機会の提供事業

横浜市からの指定を受けたスポーツ施設やスポーツ医科学施設及び、その他のスポーツ施設において誰でも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に親しむことのできるプログラムを提供しました。

◆施設別月別利用状況は P50 以降に掲載

横浜市各区スポーツセンター

スポーツセンター16施設において、スポーツ・レクリエーション活動の普及振興と健康の保持増進を図る事業を行いました。

また、区民大会やスポーツ団体の大会・イベントなど、区民が身近なところで気軽にスポーツやトレーニングが楽しめる場所として、利用促進を図りました。



スポーツ教室

種別	人数
団体利用	3,635,560 人 (126,175 団体)
個人利用	1,382,415 人
合計	5,017,975 人

①区民のスポーツ活動を推進するスポーツ教室等の実施

幼児体操、親子体操、卓球、バドミントン、ヨガ、太極拳、エアロビクス等のスポーツ教室やイベント等を年間述べ 36,195 教室開催し、延べ 1,131,680 人の参加がありました。

②自主事業（開館時間拡大等）の実施

お客様の多様なライフスタイルに応えられるように、施設の立地環境などを考慮したうえで、午前 7 時 30 分から午前 9 時までの 1 時間半、または午後 9 時から午後 11 時までの 2 時間のそれぞれの開館時間の拡大を行いました。

また 16 施設において、年末年始の開館日（施設により 1～3 日）を拡大しました。

さらに、お客様の利便性向上のため、スポーツ用具の販売やレンタル（貸出）、自動販売機の設置等の事業等を行いました。

開館時間を拡大した スポーツセンター	「7 時 30 分～9 時」 に開館した日・曜日	「21 時～23 時」 に開館した日・曜日	年末年始に 開館した日
鶴見	土・日・祝日	金	12/28、29、1/4
神奈川	—	—	12/28、29、1/4
西	毎日	月～土	12/28
中	土・日・祝日	金	12/28、29、1/4
南	—	—	12/28、29、1/4
港南	—	—	12/28、29、1/4
保土ヶ谷	日・祝	月～土	12/28、29、1/4
旭	土・日・祝日	月～金	12/28、29、1/4
磯子	土・日・祝日	月～金	12/28、29、1/4
金沢	日・祝日	月～土	12/28、29、1/4
緑	—	—	12/28、29、1/4
都筑	日・祝日	月・水・金・土	12/28、29、1/4
戸塚	土・日・祝日	月～土	12/28、29、1/4
栄	日・祝	土	12/28、29、1/4
泉	—	—	12/28、29、1/4
瀬谷	日	—	12/28、29、1/4

横浜市栄公会堂

栄スポーツセンターと一体管理を任されている栄公会堂では、公会堂の設置理念である区民の集会、その他各種行事の場であることから、日常の中に文化的活動を推進し、いきいきとした区民生活の醸成に努めました。

また、講堂をご利用するお客様が安全にかつ上質な舞台演出ができるよう専門スタッフによる支援を行うとともに、講堂や諸室を利用して自主事業を実施し、多くの区民に文化行事に触れる機会を提供しました。

◆利用実績

利用団体数	3,530 団体
利用人数	189,721 人

◆主な教室イベント事業の実績

教室名	延べ参加人数
昭和の歌声タイム	927 人
大人のたしなみ書道	414 人
美空ひばりフィルムコンサート	382 人
ALOHA・NIGHT in 栄公会堂	502 人



ALOHA・NIGHT in 栄公会堂

横浜国際プール

当プールでの国際大会では 10 年ぶりとなる「FINA 水球ワールドリーグ」が 5 月に、日本最高峰の障害者大会である「ジャパンパラ水泳競技大会」が 7 月にはじめて開催されました。また、今年度から新たに発足した B1 リーグの公式戦が行われました。

その結果、利用者数は 84 万 6 千人となり、昨年度よりも 7 万 6 千人が増加しました。

今年度も当プールは、大規模大会から市民の日ごろ成果を披露する各種市民大会の開催など幅広く活用されました。また、市民の健康増進や体力づくりのための教室や、選手強化や指導者養成、市民のふれあいの機会を創出などの事業を実施しました。

平成 29 年 3 月 21 日に、横浜市と英国オリンピック委員会は、英国代表チームの東京オリンピック事前キャンプ地として、横浜国際プールの施設利用に関する協定書を締結しました。

◆利用実績

種別	人数
個人利用	376,501 人
プール	283,012 人
トレーニングルーム	82,950 人
多目的コート他	10,539 人
団体利用	46,255 人
教室参加者数	153,118 人
大会利用者数	249,108 人
その他	21,375 人
合計	846,357 人



5/10～15 に行われた FINA 水球ワールドリーグ

① 大会利用等

メインプールでは、例年通りフィンスイミング日本選手権、関東学生水泳選手権等が開催されました。スポーツフロアに転換後には、B1 リーグ横浜ビー・コルセアーズのホームアリーナとして 22 試合が行われ、1 試合あたりの平均入場者数が 3,013 人になりました。

◆主な行事実績

主な大会・行事名	開催月	入場者数
フィンスイミング日本選手権	5月	3,030人
FINA水球ワールドリーグ	5月	12,046人
ジャパンパラ水泳競技大会	7月	2,950人
関東学生水泳選手権	8月	9,950人
テニス日本リーグ 1次リーグ、2次リーグ	12月～1月	5,300人
B1リーグ 22試合	10月～3月	66,288人

② 教室事業等

トップレベルで活躍したテニスやバレーボールの元選手による教室をはじめ、スポーツ系・プール系・文化系の多種多様な教室を開催しました。

スポーツ系では、多目的コートやサブアリーナなどで、テニス・サッカー・体操などの競技種目のほか、ピラティス・パワーヨガ・エアロビクス等のフィットネス教室に加え、横浜ビー・コルセアーズのバスケットボール教室等を新規に開催しました。

プール系では、共同事業体を組むコナミスポーツクラブが各年代やレベルに合わせた水泳教室やダイビングプールを活用した飛び込み・スキンドайビング・シンクロ等の教室を開催しました。

文化系では、会議室で英会話・声楽・サックス・ハワイアンキルト等のカルチャー教室のほか、整理収納教室などを新規に開催しました。

横浜文化体育館

全日本クラスの競技大会や、市民大会・中学校体育大会各種競技会などのほか、プロスポーツや興行など、幅広いスポーツイベントの開催をサポートし、横浜市民の「する」「観る」スポーツの普及振興に寄与しました。

また、スポーツイベントだけでなく、サーカスやコンサートなどの文化系イベントや、市民が気軽に参加できる教室事業を開催し、市民のための施設として有効活用を図るとともに、お客様が安心して快適に利用できるよう、利用調整や保守点検等のきめ細やかな施設運営を行いました。

◆利用実績

種別	人数	備考
スポーツ利用	241,513人	
文化利用	54,231人	
興行	76,914人	スポーツ・文化利用の興行
平沼レストハウス	59,347人	
総利用者人数	432,005人	アリーナ、レストハウス、教室等



B1リーグ開幕戦



バドミントン S/Jリーグ

① 大会利用等

リオ五輪代表選考大会の「皇后盃全日本女子柔道選手権大会」、代表選手への登竜門である「JOC全日本ジュニ

ア体操競技選手権大会」、「Bリーグ」、リオ五輪金メダリストも出場した「バドミントンS/Jリーグ」、恒例の「ポリショイサーカス」など、全国レベルのスポーツ大会や文化・レクリエーション等の多様なイベントが開催されました。

◆主なスポーツ行事等実績

主な大会・行事名	開催月	入場者数
第8回スポーツひのまるキッズ関東小学生柔道大会	4月	4,300人
第31回皇后盃全日本女子柔道選手権大会	4月	1,700人
2016年度全日本ジュニアレスリング選手権大会 2日間	4月	7,000人
NBL2015-2016日本バスケットボールリーグ プレーオフ2試合	5月	2,900人
市民フォークダンス協会創立60周年記念大会	5月	2,000人
2016国立ポリショイサーカス 14日間	7・8月	54,900人
新日本プロレス	8月	3,500人
2016全日本ジュニア体操競技選手権大会 7日間	8月	8,300人
B1リーグ開幕戦 横浜ビー・コルセアーズホームゲーム2試合	9月	7,700人
体操フェスティバルヨコハマ2016	11月	5,100人
バドミントンS/Jリーグ2016横浜大会 2日間	1月	3,200人
第40回ハートフルコンサート	2月	5,300人
2016/17 V・プレミアリーグ女子 ファイナル6 4日間	3月	12,500人

②教室事業等

当協会加盟の各種目団体との連携を図り、「ヨコハマ卓球練習の日」「文体友の会スポーツ教室」等のスポーツ教室を開催しました。

また、子どもを対象としたちびっこバレエ、ダブルダッチなどのジュニア教室、大人を対象に健康づくりや、ヨガ、フラダンス、介護予防などの健康体操教室のほか、絵画、書道等のカルチャー教室も開催しました。

さらに、新規フットサル大会・イベントや、体組成測定会などの自主事業を実施しました。

そのほかに、夏季の事業として、赤城林間学園を拠点に「キッズキャンプ」及び神奈川大学バスケットボール部の指導による「バスケットボールサマーキャンプ」を開催し、横浜と同学園がある昭和村の子どもたちとのダブルダッチ等による交流イベントや野菜収穫体験などを行いました。

横浜市平沼記念体育館

三ツ沢公園内に建つ平沼記念体育館の運営を行いました。

観覧席（264席）を有する体育館では、各競技団体によるフットサル、ハンドボール、バレーボールなどの利用の他、市民大会や都市間交流大会が開催されました。

また、当体育館主催のスポーツ教室や平沼亮三氏の生誕記念イベント『平体祭』、三ツ沢公園青少年野外活動センターとさわやかスポーツ普及委員会との連携による『三ツ沢連携事業』などを行い、多くのお客様に施設をご利用いただきました。

様々な事業を通し、施設の価値を高めるとともに、市民へのスポーツの普及振興を図りました。

◆利用実績

種別	人数
団体利用	130,563人(3,460団体)
スポーツ教室	11,281人(全26教室)
個人利用	2,327人(記念棟)



都市間交流スポーツ大会

◆主な教室イベント事業の実績

教室名	延べ参加人数
バドミントン教室	733人
わくわく親子体操	722人
はつらつ健康づくり教室	1,078人
ヨガ(火・水・木)※スポーツスタジオ	1,596人

横浜市青少年野外活動センター

三ツ沢公園（神奈川区）、くろがね（青葉区）、こども自然公園（旭区）の各青少年野外活動センターの管理運営を行い、青少年等の集団宿泊体験の場を提供しました。

また、自然環境を生かしたプログラムの提供と指導、及び野外活動教室事業を実施し、青少年の健全育成、及び市民への野外活動の普及振興を図りました。

◆利用促進策	◆自主事業
<ul style="list-style-type: none"> ・テント生活やウォークラリーなどの野外活動 ・野外炊事や創作活動等のプログラム開発と指導 ・保育園や育児サークル、家族などの日帰り利用に開放 ・横浜ウォーキングポイント事業への協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児から大人までの幅広い市民層に対応したキャンプ事業 ・スポーツ、文化活動等の教室 ・用具レンタル(BBQグリルなど)

◆利用実績

施設名	団体数	延べ利用人数
三ツ沢公園	1,200団体	29,389人
くろがね	1,198団体	21,570人
こども自然公園	958団体	32,983人
合計	3,356団体	83,942人

◆野外活動教室の実施

施設名	教室数	延べ参加人数
三ツ沢公園	22教室	4,235人
くろがね	26教室	4,384人
こども自然公園	17教室	4,226人
合計	65教室	12,845人



野外活動教室(わんぱくおてんば探検隊)
(三ツ沢公園野外活動センター)

横浜市少年自然の家

群馬県昭和村にある赤城林間学園、及び静岡県南伊豆町にある南伊豆臨海学園の管理運営を行いました。

海や山などの自然に恵まれた立地環境を生かし、カッターやシーカヤック、ハイキング、自然観察、創作活動などを通じて、横浜市の小中学校の集団宿泊体験や自然体験等の学習の場を提供しました。

また、主に学校の利用が少なくなる時期に一般市民が宿泊できるようにし、施設の利用を促進しました。

◆利用促進策	◆自主事業
<ul style="list-style-type: none"> ・家族利用プランの設定・PR ・学校訪問による学園の利用促進 ・イベントの誘致 	<ul style="list-style-type: none"> ・野外活動教室の開催(青少年キャンプ・ファミリーキャンプ) ・地元食材を生かした特別料理の提供

◆利用実績

施設名	団体数	延べ利用人数
赤城	321 団体	35,392 人
南伊豆	178 団体	16,931 人
合計	499 団体	52,323 人

◆野外活動教室の実施

施設名	教室数	延べ参加人数
赤城	7 教室	626 人
南伊豆	21 教室	1,355 人
合計	28 教室	1,981 人



野外活動教室(秋の実り収穫ツアー)
(赤城林間学園)

新横浜公園/日産スタジアム等

横浜市体育協会・管理JV(ハリマビシステム他3社共同企業体)が共同事業体を構成し、第3期指定管理者として日産スタジアムを含む新横浜公園(55.1ha)の管理運営を行いました。

大会やイベントを誘致するだけでなく、公園内の施設及び公園全体を活用し、地域スポーツの振興や市民の健康・体力増進に貢献するとともに、環境に配慮した「エコスタジアム」としての取組を推進しました。

◆利用実績

新横浜公園	人数
日産スタジアム(国内最大7万2千人収容)	1,285,570 人
日産フィールド小机	38,811 人
日産ウォーターパーク	162,581 人
新横浜公園内有料施設(北側園地)	131,306 人
新横浜公園内無料施設(イベント利用のみ)	247,672 人
しんよこフットボールパーク	89,949 人
ドッグラン	37,576 人
フリーマーケット(日産スタジアム)	375,000 人
合計	2,368,465 人



ジャパンラグビートップリーグ
東芝 vs キヤノン

<指定管理事業>

① 日産スタジアム(日本陸連第1種公認陸上競技場)

日産スタジアムでは、Jリーグ17試合(うち、J2リーグ1試合)、天皇杯3試合、ゼロックススーパーカップ2017、国際試合として、FIFAクラブワールドカップ2016の4試合、この他にジャパンラグビートップリーグ1試合を行いました。

また、第 95 回関東学生陸上競技対校選手権大会、第 47 回ジュニアオリンピック・第 100 回日本陸上競技選手権リレー競技大会、コンサート（3 公演 5 日間）等を誘致しました。

◆利用実績及び主な大会名・イベント名

日産スタジアム 利用実績				
種別	人数	主なイベント名	開催月	入場者数
大会・イベント等	1,258,899 人	Jリーグ20試合（天皇杯含む）	4-3月	541,701 人
サッカー	687,809 人	J A 全農チビリンピック2016	5月	35,000 人
国際試合	136,526 人	第95回関東学生陸上競技対校選手権大会（4日間）	5月	35,111 人
Jリーグ等	541,701 人	パンブ・オブ・チキン コンサート（2日間）	7月	130,000 人
アマチュア	9,582 人	ケツメイシ コンサート(1日間)	8月	70,000 人
陸上競技	99,199 人	ももいろクローバー-Z コンサート(2日間)	8月	115,446 人
コンサート・イベント・その他	471,891 人	第32回全国小学生陸上競技交流大会(2日間)	8月	16,450 人
各種教室	8,516 人	ジャパン ラグビートップリーグ（1試合）	9月	11,223 人
トラック個人利用	14,934 人	第47回ジュニアオリンピック	10月	47,638 人
ワールドカップスタジアムツアー	1,958 人	第100回日本陸上競技選手権リレー競技大会		
スタジアムウエディング	100 人	FIFA クラブワールドカップ2016（3日間）	12月	136,526 人
視察	1,163 人	ゼロックス スーパーカップ 2017	2月	48,250 人
合計	1,285,570 人			

② 日産フィールド小机(日本陸連第 3 種公認陸上競技場)

日産フィールド小机では、なでしこリーグ（2 部）4 試合、各種市民サッカー大会や横浜 F・マリノストップチームの練習、ミニラグビー大会等を行いました。

日産フィールド小机 利用実績				
種別	人数	主なイベント名	開催月	入場者数
大会・イベント等	32,311 人	第95回関東学生陸上競技対校選手権大会（4日間）	5月	2,900 人
NSAA（陸上教室）	3,386 人	なでしこリーグ（5試合）	4-9月	2,203 人
トラック個人利用	3,114 人	第31回 港北駅伝大会	1月	1,495 人
合計	38,811 人			

③ 日産ウォーターパーク（温水利用型の 22 種類のプール）

日産ウォーターパークの管理運営を行いました。また、お子様から大人、高齢者まで幅広く参加できる、親子水泳教室や水中運動療法などの各種水泳教室を開催しました。

◆利用実績

営業日	305 日
利用人数	162,581 人

④ 北側園地運動施設(野球場、運動広場第 1・第 2、投てき練習場、テニスコート)

投てき練習場、運動広場（第 1・第 2）、野球場、テニスコート、球技場の管理運営を行いました。横浜 F・マリノストップチームの練習会場でもある球技場では、憧れの選手とボールを蹴るイベント「ふれあい親子サッカー教室」を開催しました。また、投てき練習場ではラクロス教室を開催しました。

◆利用実績

施設名	人数
投てき練習場	18,100人
野球場	9,226人
第1運動広場	16,980人
第2運動広場	6,884人
テニスコート	72,246人
球技場	7,870人
合計	131,306人



マリノスとの共同による
「ふれあい親子サッカー教室」

- ⑤ 新横浜公園内無料施設(スケボー広場、インラインスケート広場1・2、バスケットボール広場、壁打ちテニスコート、公園内園路、広場等)

スケボー広場及びインラインスケート広場では、利用者のマナー向上と安全利用を目的とした子供向けの教室を開催しました。公園内園路ではランニングイベント、園地では、豊かな水と緑の環境に親しむことを目的とした「四季折々の生き物観察会(年4回)」を開催しました。



「四季折々の生き物観察会
秋の自然観察とどんぐり工作」

◆イベント利用実績

営業日	223日
利用人数	247,672人

<自主事業の実施>

スポーツを中心として広く市民の参加を促す各種自主事業を実施しました。

主な事業名	実績		備考
定期教室			
スポーツ教室	2,321人	20日	諸室を活用した「ジュニア運動能力」、「中高年齢者最適運動」教室等
日産スタジアム アスレチクスアカデミー (NSAA)	9,591人	161日	東海大学教授 高野進氏が指導する陸上教室
スポーツイベント			
日産スタジアムの芝生でプレーしよう	230人	2日	一般のチームがスタジアムのピッチでプレーできる事業
日産スタジアム選手と体験ツアー	894人	6日	横浜F・マリノスの選手と一緒にスタジアムのピッチに立てる事業
ランニング合コン&5時間耐久リレーマラソン	2,943人	1回	男女のチームをマッチングし、レース後はパーティーを行うイベント
アンカー 日産スタジアム・サイクルパークフェスティバル	4,260人	1回	スタジアムと公園内をコースとする自転車耐久レース
第10回日産スタジアム駅伝大会supported by ファイテン	2,580人	1回	スタジアムと公園内をコースとする4人1チームで襷をつなぐ駅伝大会
第19回日産スタジアム杯少年サッカー大会	5,200人	10日	小学校の部18チーム、中学校16チームが参加する大会
市民協働イベント			
市民活動支援事業	3,619人	10団体	園内で活動する市民団体に助成金交付等の活動をサポートする事業
環境イベント			
歳時記イベント	-	3事業	こいのぼりの掲揚、七夕飾り、凧揚げ
自然環境イベント	-	4事業	サツマイモとサトイモの植付け・収穫、コスモス摘み取り、メドウガーデン等
管理・運営			
ワールドカップスタジアムツアー	1,958人	95日	選手になった気分をリアルに体験できるガイド付き見学ツアー
しんよこフットボールパーク	89,949人	356日	JFA公認ロングパイル人工芝コートの管理運営
新横浜公園ドッグラン	37,576人	206日	市内最大級の天然芝ドッグランの管理運営
日産スタジアム運営ボランティア	3,064人	88日	マリノス戦や自主事業の運営をサポートする活動
スタジアムツアーボランティア	183人	95日	スタジアムツアーの案内ガイド活動

＜エコスタジアム推進の取組み＞

① 照明の LED 化（省エネルギー化）

ラグビーワールドカップ 2019™ 及び 2020 東京オリンピックサッカー競技での会場利用に向けて、横浜市による競技用照明器具の LED 化工事発注に伴う各種調整、確認等の協力を行いました。

② スタジアムでのゴミ分別をはじめとする「3R 夢（スリム）」計画の推進

当協会にて自主制作した横浜市が推奨する「3R 夢（スリム）」計画の啓発 DVD を活用し、Jリーグ 横浜 F・マリノスホームゲーム、FIFA クラブワールドカップ を含む 20 試合以上で大型映像装置にて放映し、エコスタジアムとしての取組について啓発活動を行いました。

③ カーボンオフセットフリーマーケットの開催

カーボンオフセットフリーマーケットを 21 回開催し、フリーマーケットに訪れた車両から排出されたと考えられる CO₂ 排出量の合計 195 トン分の CO₂ 排出権を購入することにより、京都議定書の温室効果ガス削減の目標達成に貢献しました。

④ ISO14001 の推進

新横浜公園の環境方針等を定めた環境マネジメントシステムを運用しました。

また、横浜市の環境施策に沿ってこれまでの環境マネジメントシステムに倣う、今後の独自環境行動を推進しました。

三ツ沢公園（ニッパツ三ツ沢球技場など）

横浜市緑の協会・横浜市体育協会がグループを構成し、第 1 期指定管理者としてニッパツ三ツ沢球技場、陸上競技場、補助陸上競技場及び馬術練習場の管理運営を行いました。

特に、Jリーグ等の開催に加え、サッカーやラグビーの国際大会の大会誘致・実施を、新横浜公園（日産スタジアム）との一体管理により実現しました。

また、三ツ沢公園は、市民に身近で歴史のある運動公園として、スポーツを通じた園内の賑わいづくりや四季を感じながら気軽に体を動かすことができる機会の提供と利用しやすい運動施設として利用促進を推進しました。

◆ 利用実績

三ツ沢公園	人数
ニッパツ三ツ沢球技場	225,014 人
三ツ沢陸上競技場	178,797 人
三ツ沢補助陸上競技場	12,813 人
馬術練習場	12,568 人
合計	429,192 人



アジアラグビーチャンピオンシップ 2016
日本代表 vs 韓国代表

<指定管理事業>

① ニッパツ三ツ沢球技場

ニッパツ三ツ沢球技場では、Jリーグ 39 試合、なでしこリーグ（2部）17 試合、天皇杯 3 試合、平成 28 年度全国高等学校サッカー選手権大会決勝戦、各種市民大会や関東大学ラグビーリーグ戦 3 試合、全国高等学校ラグビーフットボール大会神奈川県決勝戦、国際試合として、アジアラグビーチャンピオンシップ 2016 日本代表 v s 韓国代表等を行いました。

◆主な行事実績（ニッパツ三ツ沢球技場）

主な大会・行事名	開催月	入場者数
J1 横浜 F マリノス 6 試合(ルヴァン杯含む)	4-3 月	58,338 人
J2 横浜 FC 19 試合	4-3 月	99,502 人
J3 Y.S.C.C. 14 試合	4-3 月	14,249 人
なでしこリーグ2部(シーガルズ、日体大FIELDS) 17 試合	4-3 月	8,054 人
第 96 回天皇杯全日本サッカー選手権大会 3 試合	8-9 月	4,918 人
平成 28 年度全国高等学校サッカー選手権大会神奈川県決勝	11 月	7,708 人
第 95 回全国高等学校サッカー選手権大会 1 回戦、2 回戦	12-1 月	11,373 人
日朝親善サッカー大会	8 月	130 人
FIFA クラブワールドカップ 2016 練習会場(レアル・マドリード)	12 月	800 人
アジアラグビーチャンピオンシップ 2016 日本代表 vs 韓国代表	4 月	4,698 人
関東大学ラグビーリーグ戦グループ 3 試合	9-11 月	2,656 人
ジャパンラグビー トップリーグ 1 試合	10 月	4,542 人
全国高等学校ラグビーフットボール大会 神奈川県予選決勝	11 月	3,000 人

② 三ツ沢陸上競技場(日本陸連第 2 種公認陸上競技場)

三ツ沢陸上競技場では、横浜市や神奈川県の陸上記録会、中学校や高校の陸上大会、陸上の市民大会及び各区民大会、中学・高校の体育祭、各種市民サッカー大会、ラグビー大会や横浜 F・マリノスの練習等を行いました。

③ 三ツ沢補助陸上競技場

三ツ沢補助陸上競技場では、国際チビッ子サッカー大会や各区の少年サッカー大会、中学・高校の体育祭、Y.S.C.C.ホームゲーム最終戦特別企画 選手と一緒にサッカーしよう！等の事業を開催しました。

④ 馬術練習場

馬術練習場では、誰もが安全・安心・快適に利用できるよう専用用具の貸出や貸ロッカーを設置しました。

また、多様な利用者層・ニーズに対応するため馬に親しむ会や乗馬体験、横浜市民体育大会馬術競技大会を実施しました。



横浜市民大会 馬術競技大会

<自主事業の実施>

スポーツを中心として広く多くの市民の参加を促す自主事業を実施しました。



Y.S.C.C. サッカー教室

① 「Y.S.C.C.選手と一緒にサッカーしよう！」

トップチームの選手を身近に感じてもらい、J3 リーグに所属する Y.S.C.C.のホームゲーム観戦へのきっかけづくりを目的とし、一般社団法人横浜サッカー協会、NPO 法人横浜スポーツ&カルチャークラブ (Y.S.C.C) との共同で、サッカー体験イベントを開催しました。

② 「三ツ沢公園感謝 DAY」

補助陸上競技場を開放し、市民や団体等と連携したうえで、多彩な内容のイベントを開催しました。



姿勢測定

【主な実施種目】

姿勢測定、陸上用具にさわってみよう!、さわやかスポーツ体験、馬術場(バックヤードツアー、にんじんタイム、ポニー乗馬体験)、スタンプラリー、ラグビートライフオト 他

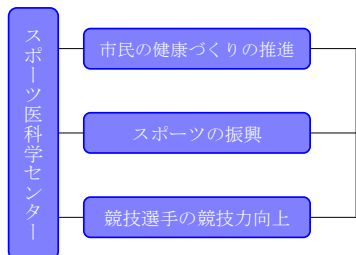
日にち	行事名	内容	参加者数
平成 28 年 11 月 20 日(日)	Y.S.C.C 選手と一緒にサッカーしよう!	J3 リーグでプレーするトップチームの選手と地域で活躍する少年少女との交流を図るサッカー教室	200 人
平成 29 年 3 月 12 日(日)	第 1 回 三ツ沢公園感謝 Day	指定管理者グループである当協会と横浜市(健康福祉局、資源循環局、水道局、消防局、市民局、神奈川区役所)、横浜 FC、市馬術協会との共同主催によるイベント	8,000 人

横浜市スポーツ医科学センター

「市民の健康づくりの推進」「スポーツの振興」「競技選手の競技力の向上」を目的に、クリニック(内科・循環器内科・整形外科・スポーツ整形外科・リハビリテーション科)、大・小アリーナ(体育館)、25mプール、トレーニングルーム、研修室などを併設した施設の運営を行いました。

◆スポーツ医科学センターの主な事業

事業区分	概要
スポーツプログラムサービス (SPS)	医学的検査・運動負荷試験・体力測定による健康診断と体力測定
クリニック	内科・循環器内科・整形外科・スポーツ整形外科・リハビリテーション科における診療
メディカルエクササイズコース (MEC)	医師の処方による運動療法
スポーツ医事相談・講座講演	市民を対象とした医事相談事業や公開講座
教室事業	市民の健康増進のための各種スポーツ教室
競技力向上事業	プロからアマチュアスポーツ選手に対する医学的サポート
その他事業	施設利用・研究事業・各種連携事業ほか



① スポーツプログラムサービス (SPS)

スポーツプログラムサービス (SPS) は、医学的検査・運動負荷試験・体力測定の実施結果により、生活・栄養・運動について、医師・管理栄養士・スポーツ科学員などの専門スタッフがアドバイスを行う「スポーツ版人間ドック」です。

特に「ロコモティブシンドローム^(注)」予防に向けた取り組みを進め、質問紙「ロコモ 25」や「最大歩行速度測定」を新たに取り入れました。

注) 運動器の障害による移動機能の低下した状態 (日本整形外科学会より引用)



スポーツプログラムサービス (SPS)

平成 28 年度 SPS 総利用者数	1,700 人
--------------------	---------

② クリニック (内科・循環器内科・整形外科・スポーツ整形外科・リハビリテーション科)

クリニックは、スポーツ専門医をはじめとする専門スタッフを配置し、スポーツ医学に基づく様々な治療をアマチュアからトップアスリートに対して提供しました。

特に「スポーツリハビリテーション」の経験豊富な理学療法士による運動療法やリハビリテーションにより、疾病の予防・改善や症状の緩和・消失に取り組み、アスリートへのサポートを行いました。

また、アスリートに対する治療のほか、通常の内科・整形外科の診療も実施しました。

そのほか、特定健康診査 (健康診断)・特定保健指導については、専門スタッフによる組織的なサポート体制の下で、横浜市国民健康保険加入者の受託機関として受入れを行いました。

クリニックに配置する専門スタッフ

スポーツ専門医 (内科・循環器内科・スポーツ整形外科)・保健師・看護師・管理栄養士・理学療法士・スポーツ科学員・運動指導員

◆平成 28 年度クリニック受診者数

内科総患者数 (特定保健指導含)	3,807 人
整形外科総患者数	19,822 人
整形外科系運動療法総患者数	43,266 人

③ メディカルエクササイズコース (MEC)

メディカルエクササイズ (MEC) は、内科的・整形外科的疾患を抱え、積極的に運動することで改善が望める方を対象にした「医学的運動療法教室」です。

MEC アリーナ・MEC プールの 2 コースがあり、医師の運動処方に基づいて、専門の資格を持つ指



メディカルエクササイズコース (運動療法) の様子

導員が運動指導を行い、延べ 15,077 人（過去最大人数）が参加しました。

特に、膝や腰の整形疾患に特化した「膝コース・腰コース」は、理学療法士が考案した「予防・改善プログラム」の提供を継続して実施し、8,279 人の参加者がありました。

④ スポーツセンター医事相談事業・医事講座事業、医事講演

平成 28 年度も市民を対象としたスポーツ医事相談事業を横浜スポーツ医会と連携し、実施しました。

医事相談事業は、市内を 4 エリアに分け、各拠点のスポーツセンターにおいて内科・整形外科の医事相談を行いました。また、スポーツセンターにおいて医事講座も開催しました。

医事講演事業は、行政や競技団体からの依頼を受け、管理栄養士や指導員が講師となり、健康に関する講話や実技指導を実施しました。

◆ スポーツセンター医事相談・医事講座参加者数

スポーツセンター医事相談		スポーツセンター医事講座	
内科	45 人	内科	47 人
整形外科	92 人	整形外科	34 人

◆ 医事講演

時期	講座名	講師	参加者数
平成 28 年 6 月	横浜シニア大学	横浜市医師会横浜スポーツ医会 長濱隆史 副会長 スポーツ医科学センター 健康科学課 畑田康 指導員	650 人
平成 28 年 11 月	全柔連公認柔道指導者B指導員養成講習会	スポーツ医科学センター	69 人
平成 29 年 2 月	神奈川県スポーツ指導者研修会	内科 高木久見子管理栄養士	50 人

⑤ 教室事業

1 年間を通じて体操・水泳・トレーニングを行うスポーツ教室と 1 年を 4 期に分けて「太極拳」・「フラダンス」などの種目を行う健康教室を開催しました。

体操・水泳発表会の開催や一般市民向けのイベントなどを行った結果、スポーツ教室は 62,045 名、健康教室は 10,236 名の参加がありました。



体操教室（選手コース）

目的別教室では、医師などの専門スタッフの下で安心・安全な減量を行う「減量・脂肪燃焼教室」を年 3 回の申込から、毎月申し込める形態に変更し、85 名の新規参加者がありました。

また、ロコモティブシンドローム予防・改善への取り組みを強化するため、姿勢・歩き方を改善する「筋力向上・姿勢改善教室」を実施しました。SPS に加え、簡易な体力測定を定期的に行い、自身の状況を確認しながら実施し、1,337 名の参加者となりました。

◆教室事業一覧

区分	実施教室
スポーツ教室	「体操競技」「水泳」「筋力向上・姿勢改善」教室
健康教室	「親子リトミック」「骨盤調整」「太極拳」「ピラティス」「フラダンス」「社交ダンス」「機能改善ヨガ」「健康ヨガ」「シェイプアップボクシング」「ジュニアヒップホップ」教室
目的別教室	「減量・脂肪燃焼教室」「少年野球クリニック」その他トレーニングルームにおける各種教室

⑥競技力向上事業

競技選手の競技力向上をサポートするため、地元のプロや実業団のスポーツチーム等を対象としたメディカルチェックや各競技に即した専門的な体力測定、横浜市のジュニア競技者に対するジュニア医科学マルチサポート、各競技団体のジュニア選手を対象としたジュニア SPS などを実施しました。

また、「横浜ビー・コルセアーズ」へのメディカルサポートを行うことで、プロスポーツ選手の競技力向上・当センターの認知度向上を図りました。

また、リオデジャネイロ 2016 パラリンピック競技大会ゴールボール女子日本代表チームのトレーナーとして、加藤瑛美理学療法士（リハビリテーション科所属）が選手に帯同し、ゴールボール女子日本代表チームの活躍に貢献いたしました。

◆ジュニア競技力向上事業

ジュニア医科学マルチサポート		少年野球メディカル	
空手	58 人	延べ参加者数	83 人
体操	25 人	実施回数	14 回

◆医科学研修の開催

開催日	11 月 13 日(日)、3 月 19 日(日) 全 2 回
テーマ	少年サッカー選手のためのケガ予防講座、オリンピック選手によるバスケットボール教室
対象者	横浜市内在住・在学の小・中・高校生選手
参加人数	合計 150 人
講師	下平匠氏(横浜 F・マリノス)、町田瑠唯氏、長岡萌映子氏(富士通レッドウェーブ)

開催日	2 月 5 日(日)～3 月 25 日(土) 全 7 回
テーマ	中学生期の部活動指導講座 「～一流の指導者は子どもたちのここを見ている～」ほか 6 回
対象者	横浜市内在住・在勤・在学の指導者、選手、保護者
参加人数	合計 163 人
講師	福間博樹氏(陸上)、星澤純一氏(バスケット)、スポーツ医科学センター管理栄養士・理学療法士・指導員



少年サッカー選手のためのケガ予防講座・オリンピック選手によるバスケットボール教室

⑦その他事業

施設の特性を活かし、関連する各種事業を実施しました。

区分	事業内容
施設利用	25mプール・トレーニングルーム利用
施設貸出	アリーナ貸出・研修室貸出
受託事業	資源循環局からの「腰痛検診」
研究事業	スポーツ医科学に関する研究及び研究成果の学会等での発表、論文作成
各種連携事業	・スポーツセンター等でのスポーツ医科学に関する市民向け講演 ・16 スポーツセンターと連携し減量教室を実施 ・「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」で『スポ医科健康チェック』等実施 ・横浜商業高校（Y校）へのメディカルサポート ・「港北ふれあいまつり」（港北区民まつり）でスポ医科 PR ブース出展
広報 PR 事業	広報誌やホームページを通してスポーツ医科学情報を提供
人材育成事業	市体協職員に対するスポーツ医科学研修、運動療法の実践指導

屋内・屋外プール

屋内プール5施設（旭、栄、保土ヶ谷、都筑、金沢、※港南は耐震工事による長期休館）及び屋外プール1施設（横浜プールセンター、※本牧市民プールは施設老朽化により営業休止）の運営を行い、市民のスポーツ・レクリエーションの普及・振興、健康増進に寄与しました。

より多くの集客を図るため、体験イベントや季節に応じたディスプレイ、こどもから大人までのプール利用の教室の他、軽運動ルームを活用して健康教室やダンス教室事業を拡充しました。

また、屋外プールにおいては、オフシーズンの施設の有効活用を図るため、インラインスケート団体への貸し出しや、船舶ラジコンの利用、テレビ番組・雑誌撮影、撮影会等の場として活用しました。



親子水泳教室の様子
（都筑プール）

◆屋内プール利用実績

施設名	合計利用人数	うち水泳教室数	参加人数	うち体操教室数	参加人数
旭プール	120,747人	42教室	14,690人	4教室	657人
港南プール	—	—	—	—	—
栄プール	99,150人	31教室	21,645人	4教室	358人
保土ヶ谷プール	100,534人	59教室	23,508人	7教室	1,898人
都筑プール	152,004人	59教室	25,589人	—	—
金沢プール	179,317人	46教室	17,369人	8教室	2,893人
合計	651,752人	237教室	102,801人	23教室	5,806人

◆屋外プール利用実績

施設名	合計利用人数
横浜プールセンター	116,780人
本牧市民プール（インラインスケート利用 ※プール利用はなし）	956人
合計	117,736人

テニスガーデン

緑テニスガーデン（10面）、根岸テニスガーデン（9面）及び泉中央テニスガーデン（11面）において、テニスコートの一般貸しを行ったほか、子どもから大人まで広く市民が参加できるテニス教室を開催しました。

また、根岸テニスガーデンでは、老朽化したアウトドアハードコート全6面の補修工事を行い、リニューアルを図りました。



リニューアル工事後のコート
(根岸テニスガーデン)

◆利用実績

施設名	合計人数	貸コート人数	教室参加人数	イベント参加人数
緑テニスガーデン	50,341人	30,891人	18,113人	1,337人
根岸テニスガーデン	63,437人	16,886人	46,023人	528人
泉中央テニスガーデン	42,539人	20,390人	16,707人	5,442人
合計	156,317人	68,167人	80,843人	7,307人

鶴見川漕艇場

ボート・カヌーの利用、貸出しなどの管理運営の他、市民の誰もが気軽に水上スポーツを親しむことができる環境づくりを目的に、ボートやカヌーの教室を開催しました。平成27年6月から平成28年4月まで係留杭改修工事を行い、4月10日から台船利用を再開しました。



ボート大会の様子

◆利用実績

艇利用	4,762艇
利用人数	23,239人

◆教室実績

教室名	教室数	参加人数
ボート・カヌー教室	11教室	81人

横浜みなとみらいスポーツパーク

平成28年5月から平成29年3月まで暫定運営をしました。6月からは旧マリノスタウンDピッチをサブフィールドとして加え、サッカー、フットサル、ラグビーなどのフィールド系スポーツにご利用いただきました。また、クラブハウス内の会議室では、ピラティス等の教室を開催しました。

◆利用実績

種別	人数
フィールド利用	351,026人
会議室利用	27,827人
ランニングステーション利用	2,572人
合計	381,425人



フットサルの利用

たきがしら会館

プロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」の練習場として、チームの運営に協力したほか、チームとの連携事業を通じてプロスポーツの普及啓発を行いました。

また、地域のニーズを踏まえて子どものスポーツ教室の充実を図りました。

ダンス系の教室では、日ごろの練習の成果を表現する場として「ダンス発表会」を定期的に行い、多くのお客様から好評を得ました。

そのほか、近隣の根岸地区センターへの派遣指導や協働イベント事業を積極的に開催し、施設の一層の利用促進を図りました。

◆利用実績

利用団体数	6,108 団体
利用人数	116,376 人



ダンス発表会
(たきがしら会館 ホール)

◆主な教室・イベント事業の実績

種別	延べ参加人数
ジュニア野球(基礎・応用)	1,459 人
英語 DE バスケット(ビーコル協働事業)	692 人
幼児 スポーツ教室	1,515 人
骨盤調整ヨガ	931 人
ジュニアダンス	1,283 人

神奈川スケートリンク 【愛称:横浜銀行アイスアリーナ】

国際規格のリンクを有し、新しくなったスケートリンクでは、多くの方が安全・安心してご利用いただけるよう施設管理を万全にし、また一般滑走から教室開催など各種事業を展開することで、子どもから大人までアイススケートに親しめる機会と場所を提供しました。

① 一般滑走 (午前 10 時から午後 6 時 30 分)

広く一般市民がアイススケートを楽しめるよう一般滑走を実施しました。

② スケート教室事業 (一般滑走時間帯を中心に、一部早朝・夜間)

3 歳から大人まで、年齢やスケート技術のレベルに応じて参加できるよう各種スケート教室を実施しました。

- ・フィギュアスケート教室 (幼児・小学生から大人・選手)
- ・短期スケート教室 (夏休み 他)
- ・団体向け教室 (幼稚園・学校・放課後キッズクラブ・子ども会 他)

③ 貸切営業 (午後 6 時 30 分から午前 10 時)

夜間と早朝の時間帯に、クラブや団体向けの貸切営業を行いました。

◆利用実績

一般利用者	89,806 人
団体利用者	18,097 人
教室利用者	124,114 人
貸切利用者	60,328 人
合計	292,345 人



団体利用での滑走風景

◆あゆみ

1951(昭和 26)年	神奈川スケートリンク営業開始
2013(平成 25)年	財団法人神奈川体育館と公益財団法人横浜市体育協会が統合
2014(平成 26)年	6 月 30 日 神奈川スケートリンク(旧リンク)営業終了 10 月 19 日 スケートリンク関内(仮設リンク)営業開始
2015(平成 27)年	11 月 30 日 スケートリンク関内(仮設リンク)営業終了
2015(平成 27)年	12 月 20 日 横浜銀行アイスアリーナ(新リンク)オープニングイベント 12 月 21 日 横浜銀行アイスアリーナ(新リンク)営業開始

8 スポーツ団体等育成事業【定款第 4 条第 1 項第 1 号】

(1)スポーツ団体育成事業

ア 交流事業

横浜市のスポーツの分野で活躍・功労のあった方々及びスポーツ関係者との交流促進のため、「第 51 回新春横浜スポーツ人の集い」を開催しました。

開催日	平成 29 年 1 月 27 日(金)
参加者	1,280 人
会場	横浜文化体育館

イ スポーツ表彰事業

各種スポーツ大会において、顕著な成績をおさめた個人・団体やスポーツ振興に寄与した個人を表彰する横浜スポーツ表彰を実施しました。また、教育委員会表彰等の各種表彰への推薦を行いました。

【横浜スポーツ表彰】

○個人：187 人

○団体：6 チーム

ウ 協力町村来浜事業

少年自然の家が設置されている「昭和村（群馬県）」、「南伊豆町（静岡県）」の各町村の児童を横浜に招待し、横浜スタジアムでの野球観戦や、「カップヌードルミュージアム」・「はまぎんこども宇宙科学館」等の施設見学、中華街での食事などを通じ、子どもたちに横浜への理解と親しみを深めてもらう事業を行いました。



ナイター観戦(昭和村来浜事業)

9 協会運営事業【定款第4条第1項第6号及び第5条】

(1) 中期計画および協約(平成27～29年度)

中期計画で掲げる4つの方向性に沿った事業展開を進め、目標の達成状況は、各部・課においてPDCAサイクルに則り進捗を管理しました。結果は、四半期ごとに局部長会議にて報告し、課題点・問題点について協会内で情報の共有を行いました。

【中期計画4つの方向性】

1	指定管理の確実な獲得と質(サービス)の向上
2	地域スポーツの振興に向けた地域支援の仕組みの再構築
3	協会の新たな軸となる事業の企画・立案・実施
4	人財育成と組織の強化

【中期計画および協約目標】

		目標	実績	達成状況
目標1	事業参加者数を100万人以上にする	100万人以上	1,631,438人	117.2%
	施設利用者数を1,000万人以上にする	1,000万人以上	11,606,485人	105.1%
目標2	事業活動収入に対する補助金以外の収入の比率90%以上を維持する	90%以上	90.1%	+0.1P
	事業活動支出に対する補助金以外の収入の比率90%以上を維持する	90%以上	94.9%	+4.9P
目標3	職員のモチベーションを高め、組織の活性化を図るよう、人材育成計画を整備し実施する	計画の策定	計画策定	達成

(2) 危機管理に対する取組

市民の信頼に応え、安全・安心を確保する責務を果たすべく、協会職員の防災意識の高揚を図るため、事務局及び全事業所で防災訓練を実施しました。

(3) 社会的責任に対する取組

ア コンプライアンスの推進

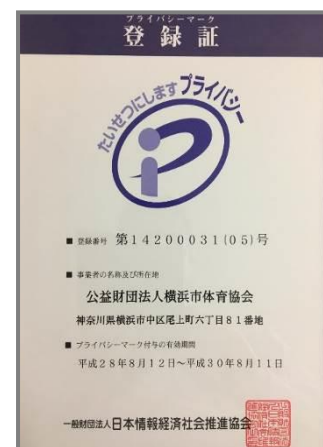
法令遵守や倫理保持を徹底し、公正な職務遂行及び適正な法人運営の確保に努めました。

また、個人情報データを適正に取り扱い、マネジメントするために、「プライバシーマーク」の登録更新を行いました。

イ 社会貢献活動

① ボランティア団体「横浜支援隊」への参加

平成29年1月20日～22日に、中区役所等のボランティア団体「横浜支援隊」に協会職員5名が参加し、岩手県大槌町の災害復興住宅で、ストラックアウトやラダーゲッターなどを実施しました。



更新したPマーク登録証



ラダーゲッター体験
(大槌町にて)

② インターンシップ・職業体験の受入や清掃活動への参加

大学生インターンシップや中学生対象のスポーツセンター職業体験の受入れ、また、自治会町内会と協力しながら協会職員が町内の清掃活動等を実施しました。

(4) 賛助会員事業

協会の理念やそれに基づく事業展開を広くアピールし、その活動に賛同をいただいた市民や法人の皆様から、2,570,000 円の賛助会費を納入いただきました。

賛助会費につきましては、健康・体力づくり事業やスポーツ人材の養成・育成活用事業、またスポーツ団体等の育成事業などに活用しました。

(5) 広報 PR 事業

ア 協会ホームページでの管理運営施設や各種事業の案内

管理運営施設や各種事業の案内、また、ディスクロージャーの観点から事業計画書や事業報告書等、協会が保有する情報の公開に努めました。

◆平成 28 年度アクセス数 26,964,015 件

イ 協会キャラクター「キャプテンわん」販売によるPR活動

当協会キャラクター「キャプテンわん」のグッズの一般販売を行いました。

品目	単価(税抜)	販売数	売上総額(税抜)
ぬいぐるみ	1,000 円	13 個	13,000 円
ストラップ	500 円	162 個	81,000 円

(6) 基金の運用

ア ワールドカップ決勝戦開催記念基金の運用

横浜市からの補助金を基に、「2002 F I F A ワールドカップ」の決勝戦開催を記念した基金ですが、平成 28 年度については運用がありませんでした。

イ 横浜こどもスポーツ基金の運用

「横浜こどもスポーツ基金」は、障害のあるこどもや恵まれない環境の子どもたちを支援・援助することを目的に平成 25 年度に設置されました。当協会は、その事務局業務を行いました。

横浜市内の各プロチームや加盟団体等の実施する観戦事業、交流事業に助成するとともに、同基金の啓発事業や寄附の募集を行いました。

(7) 駐車場の運営

横浜アリーナに近接する新横浜駐車場や、馬場駐車場（鶴見区）の 2 か所の駐車場を運営しました。

◆利用台数実績

種別	延べ台数
月極駐車場	748 台
時間貸駐車場	93,155 台

II 処務の概要

1 評議員に関する事項（定款第11条関係）

（平成29年3月31日現在 評議員28名）

No	役職	氏名	所属等
1	評議員	小野謙治	横浜市日本拳法連盟理事長
2	評議員	加藤範義	一般社団法人横浜サッカー協会副会長
3	評議員	小島永三	横浜バスケットボール協会副会長
4	評議員	草野茂	一般社団法人横浜水泳協会専務理事
5	評議員	鈴木信夫	横浜市ダンススポーツ連盟副会長
6	評議員	武石敏勝	NPO法人横浜市馬術協会会長
7	評議員	廣瀬正春	横浜市ソフトボール協会理事長
8	評議員	古谷良子	横浜市太極拳協会副会長
9	評議員	甘粕完治	横浜市バドミントン協会理事長
10	評議員	石井清一	横浜市山岳協会会長
11	評議員	大西敏夫	横浜市アーチェリー協会理事長
12	評議員	田邊賢一	横浜市スポーツチャンバラ協会会長
13	評議員	下田秀美	保土ヶ谷区体育協会副会長
14	評議員	小野田進	中区体育協会副会長
15	評議員	永野清司	瀬谷区体育協会副会長
16	評議員	小山洋一	横浜市立小学校体育研究会会長
17	評議員	鈴木秀雄	関東学院大学名誉教授
18	評議員	高橋和子	横浜国立大学教授
19	評議員	富田幸博	日本体育大学教授
20	評議員	嶋田充郎	株式会社テレビ神奈川報道局長
21	評議員	小川純子	日本放送協会横浜放送局長
22	評議員	小田治男	一般社団法人横浜市医師会横浜スポーツ医会会長
23	評議員	佐藤浩幸	神奈川新聞社統合編集局運動部長
24	評議員	大川敏彰	横浜市市民局スポーツ振興部長
25	評議員	長谷川祐子	横浜市教育委員会事務局指導部長
26	評議員	橋本健	横浜市環境創造局公園緑地部長
27	評議員	金谷庄三	南区スポーツ推進委員連絡協議会会長
28	評議員	小坂恵美子	横浜市婦人スポーツ団体連絡協議会会長

2 評議員人事（定款第11条関係）

(1)平成28年 7月14日付就任

評議員 嶋田 充郎
評議員 小川 純子
評議員 大川 敏彰

(2)平成28年 7月13日付辞任

評議員 岩田 悦子
評議員 大加 章雅

(3)平成28年 7月14日付辞任

評議員 金澤 貞幸

3 評議員選定委員会に関する事項（定款第12条関係）

回	開催日	内容	開催場所等
1	平成28年7月14日	1 評議員の選任について	事務局会議室

4 評議員会に関する事項（定款第16・20条関係）

回	開催日	議案	開催場所等
1	平成28年4月1日	第1号議案 理事の選任	書面表決
2	平成28年6月24日	第1号議案 平成27年度事業報告 第2号議案 平成27年度決算書 第3号議案 評議員候補者の推薦	事務局会議室

5 役員に関する事項（定款第 22 条関係）

（平成 29 年 3 月 31 日現在 理事 20 名 監事 2 名）

No	役職	氏 名	所 属 等
1	会 長	山 口 宏	横浜野球協会会長・横浜野球連盟会長・ 中区体育協会会長・(株)共栄社代表取締役社長
2	副会長 兼 専務理事	濱 陽 太 郎	専務理事
3	副会長	河 原 智	横浜市卓球協会会長
4	副会長	尾 島 良 一	横浜ハンドボール協会副会長
5	副会長	日 下 啓 二	横浜市テニス協会会長
6	常務理事	清 水 伸 一	事務局長 兼 総務経営局長
7	常務理事	伊 藤 保 則	地域スポーツ・施設経営局長
8	常務理事	勝 山 秀 男	スポーツ事業局長
9	常務理事	倉 知 秀 朗	公園管理局长
10	常務理事	久 保 田 信 義	警備統括監
11	理 事	山 口 憲 一	横浜市空手道連盟
12	理 事	森 孝 正	横浜市体操協会副会長
13	理 事	齋 藤 裕 昭	横浜市陸上競技協会副会長
14	理 事	菜 花 好 和	西区体育協会会長
15	理 事	菊 池 侃 二	青葉区体育協会会長
16	理 事	山 崎 健 志	横浜市立中学校体育連盟顧問
17	理 事	青 木 治 人	聖マリアンナ医科大学名誉教授・ スポーツ医科学センター長
18	理 事	吉 備 カ ヨ	株式会社ジョビア代表取締役会長
19	理 事	玉 木 伸 和	横浜市立大学名誉教授
20	理 事	西 山 雄 二	横浜市市民局長
1	監 事	小 川 肇	横浜市少林寺拳法連盟専務理事
2	監 事	齋 藤 貴 司	ベイ・タックス税理士法人 代表社員税理士

6 役員人事（定款第 22 条関係）

(1)平成28年 4月1日付就任

副会長 兼 専務理事 濱 陽太郎

7 理事会に関する事項（定款第 31・32・35 条関係）

回	開催日	議案	開催場所等
1	平成 28 年 4 月 1 日	第 1 号議案 副会長兼専務理事の選任	書面表決
2	平成 28 年 6 月 9 日	第 1 号議案 平成 27 年度事業報告 第 2 号議案 平成 27 年度決算書 第 3 号議案 評議員候補者の推薦 第 4 号議案 第 2 回評議員会開催日及び議案の決定	事務局会議室
3	平成 28 年 9 月 16 日	第 1 号議案 横浜文化体育館再整備の PFI 事業における出資	事務局会議室
4	平成 28 年 12 月 16 日	第 1 号議案 平成 28 年度横浜スポーツ表彰被表彰者 第 2 号議案 公益財団法人横浜市体育協会特定費用準備資金等取扱規程の制定 第 3 号議案 神奈川スケートリンク改良等準備資金設置要綱の制定及び平成 27 年度公益目的事業剰余金の積み立て	事務局会議室
5	平成 29 年 3 月 28 日	第 1 号議案 平成 29 年度事業計画書 第 2 号議案 平成 29 年度予算書 第 3 号議案 理事との利益相反取引 第 4 号議案 重要な職員の任命の承認 第 5 号議案 横浜ジュニアスポーツクラブアソシエーション設置規程の改正	事務局会議室

8 職員に関する事項（定款第 42 条関係）

職員数 278 名（平成 29 年 3 月 31 日現在）

内 訳

横浜市派遣職員	6 名
固有職員	146 名
一般職員	10 名
嘱託職員	116 名
合計	278 名

9 委員会（定款第 43 条関係）

委員会名	回	開催日	内 容
総務委員会	1	平成 28 年 10 月 26 日	1 第 5 1 回新春横浜スポーツ人の集い実行委員会について 2 賛助会費について 3 加盟団体への新規加入について
市民スポーツ委員会	1	平成 28 年 11 月 30 日	1 平成 28 年度横浜スポーツ普及功労賞の候補者について
競技委員会	1	平成 29 年 3 月 14 日	1 平成 29 年度事業について 2 学校部活動支援について

10 連絡協議会（定款第 43 条関係）

会議名	回	開催日	内 容
加盟団体 代表者会議	1	平成 28 年 8 月 3 日	1 役員及び評議員並びに専門委員長の紹介 2 横浜市体育協会からのお知らせ 3 講演「昭和 40 年代を競った世界チャンピオン徹底比較」 4 その他
区体協 代表者会議	1	平成 28 年 6 月 13 日	1 横浜市体育協会理事会報告について 2 各区スポーツ交流大会について 3 広報媒体（Sports よこはま）を活用した PR について 4 区体育協会の運営と課題について 5 各区情報交換 6 その他
	2	平成 28 年 9 月 12 日	1 横浜市体育協会 平成 27 年度事業報告について 2 広報媒体（Sports よこはま）を活用した PR について 3 各区種目協会加盟団体一覧等について 4 大会開催時における賠償責任について 5 区体育協会の運営と課題について 6 各区情報交換 7 その他
	3	平成 28 年 11 月 14 日	1 平成 28 年度上半期各区体育協会公益目的事業実施状況について 2 広報媒体（Sports よこはま）を活用した PR について 3 各区種目協会加盟団体一覧等について

会議名	回	開催日	内 容
			4 大会開催時における賠償責任について 5 所得税と源泉徴収事務について 6 横浜スポーツ表彰選考委員会委員の推薦について 7 区体育協会の運営と課題について 8 各区情報交換 9 その他
	4	平成 29 年 2 月 13 日	1 横浜市体育協会理事会報告について 2 広報媒体（Sports よこはま）を活用した PR について 3 区体育協会の運営と課題について 4 各区情報交換 5 役員の改選について 6 その他

1 1 加盟団体（定款第 44 条関係）

加盟団体数 74 団体（平成 29 年 3 月 31 日現在）

区 分	団体数
加盟競技団体	5 2
加盟学校団体	3
加盟地域団体	1 8
加盟体育団体	1
合 計	7 4

1 2 各種表彰（定款第 4 条関係）

平成 28 年度公益財団法人横浜市体育協会

(1) スポーツ功労賞

体育・スポーツの進歩・発展に顕著な功績をなした者、及び価値ある研究調査をなした者

No.	氏名	所属名
1	金子 伸一	横浜市柔道協会
2	波田野 志郎	横浜市剣道連盟
3	久保田 等	横浜市弓道協会
4	池崎 則明	横浜バスケットボール協会
5	橋本 敬二	横浜市ソフトボール協会
6	志村 健一	横浜市山岳協会
7	座間 伸一	横浜市インディアカ協会
8	小山 洋一	横浜市立小学校体育研究会
9	松原 三千子	横浜市なぎなた連盟
10	田中 裕	横浜市綱引連盟
11	藤田 耕平	横浜市立中学校体育連盟
12	岡田 喜久雄	横浜市ゲートボール連合
13	小池 晴恵	横浜市レクリエーション連合
14	荻野 陸子	横浜市レクリエーション連合
15	秦 政子	横浜市レクリエーション連合
16	阿部 喜美子	横浜市レクリエーション連合
17	鈴木 浩	横浜野球連盟
18	三枝 勝巳	横浜市少林寺拳法連盟
19	見上 崇	横浜市バドミントン協会
20	石井 和則	一般社団法人横浜サッカー協会
21	熊谷 賢治	横浜市テニス協会
22	宮下 伸一	横浜バレーボール協会

No.	氏名	所属名
23	吉田 秀志	横浜市陸上競技協会
24	弓場 常正	NPO法人横浜市ボート協会
25	白井 勝晃	横浜市体操協会
26	定森 秀光	横浜ハンドボール協会
27	岩井 茂	横浜市卓球協会
28	岩井 純一	横浜市カヌー協会
29	近藤 新二	横浜市ターゲット・バードゴルフ協会
30	五十嵐 久美子	港北区体育協会
31	中熊 隆二	港南区体育協会
32	持増 信昭	都筑区体育協会
33	庄司 孝	西区体育協会
34	榎本 光雄	中区体育協会
35	久保 久子	南区体育協会
36	堀田 太郎	神奈川区体育協会
37	長浜 幸児	旭区体育協会
38	石崎 豊	保土ヶ谷区体育協会
39	泉 龍夫	金沢区体育協会
40	田中 修	緑区体育協会
41	江口 峰夫	青葉区体育協会
42	持田 みつ子	戸塚区体育協会
43	阿部 万蔵	泉区体育協会
44	飯沼 宏氏	瀬谷区体育協会

(2) 優秀指導者賞

体育・スポーツの指導者として、優秀な選手又はチームを育成した者

No.	氏名	所属名
1	宮下 広平	横浜市柔道協会
2	古澤 和敏	横浜市アマチュアボクシング協会
3	松川 悟史	横浜市バドミントン協会
4	平井 勇氣	横浜市陸上競技協会
5	岩尾 光平	横浜市スポーツチャンバラ協会

(3) 優秀選手賞(個人)

著名な大会で優秀な成績を示した者

No.	氏名	所属名
1	朝飛 真実	横浜市立六角橋中学校
2	朝飛 七海	桐蔭学園高等学校
3	若藤 唯	桐蔭学園高等学校
4	齋藤 慧	神奈川大学
5	岩佐 暖	神奈川大学
6	小浦 菜々美	横浜市立横浜総合高等学校ボクシング部
7	松川 健大	青葉ジュニアバドミントンクラブ
8	松田 知幸	神奈川県警察
9	谷中 友美	高木学園女子高等学校
10	一ノ渡 桜	法政大学
11	三浦 拓己	横浜北松濤館
12	佐藤 政一郎	全日本空手道志空会横浜道場
13	島倉 杏奈	横浜糸東会
14	古谷田 耀	横浜市立旭中学校
15	仲澤 友莉菜	杉浦紀子バトンスタジオ
16	平久井 愛由	杉浦紀子バトンスタジオ
17	知念 豪	ゼンリン
18	長谷川 大悟	日立ICT
19	江島 雅紀	神奈川県立荏田高等学校
20	宮坂 楓	ニッパツ
21	松永 大介	東洋大学
22	高張 広海	日立ICT
23	関口 未来	日本体育大学
24	佐藤 亜希穂	日本体育大学
25	神本 雄也	日本体育大学
26	原科 太一	横国翔剣会スポチャンクラブ
27	渡邊 修永	県立武道館スポチャンクラブ
28	石井 優希	県立武道館スポチャンクラブ
29	五島 優	県立武道館スポチャンクラブ
30	海氣 奈那子	横国翔剣会スポチャンクラブ
31	丹野 夏波	神奈川県自転車競技連盟
32	畠山 紗英	白鷗女子高等学校
33	三輪 和弘	神奈川県自転車競技連盟
34	松田 鋼	神奈川県自転車競技連盟
35	石上 夢乃	横浜創学館高等学校
36	福田 咲絵	慶應義塾大学
37	酒巻 依子	エスクァティア

No.	氏名	所属名
38	赤川 智子	アサマトレーニングクラブ
39	淵上 宏恵	アサマトレーニングクラブ
40	三浦 恵美子	アサマトレーニングクラブ
41	大谷 憲弘	エスクァティア
42	溝口 久美	KsGYM横浜
43	田村 陽	神奈川県立厚木商業高等学校
44	佐藤 優輝	KsGYM横浜
45	大矢 未早希	(株)サンリツ
46	川口 功人	横浜市立ろう特別支援学校
47	岡部 祐介	ライフネット生命保険株式会社
48	大島 洋子	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
49	金房 健司	(株)ゼロ追浜整備センター
50	佐藤 夏菜子	横浜市立美しが丘中学校
51	加藤 有希	CSR統括部グローバル人事総務センター総務グループ
52	初海 達也	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
53	芹澤 美希香	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
54	上田 真義	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
55	本郷 雅博	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
56	林田 泰河	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
57	木下 萌実	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
58	佐々木 隆幸	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
59	浜本 純矢	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
60	本 由佳子	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
61	佐藤 春美	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
62	鈴木 慎也	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
63	北本 理子	横浜市立盲特別支援学校
64	竹内 智哉	ヨコハマスイミングクラブ
65	中田 圭帆子	イトマンスイミング横浜校
66	笹目 南帆	セントラルスポーツクラブ戸塚
67	泉原 凧沙	コナミススポーツクラブ天王町
68	柳川 大樹	スポーツプラザ報徳金沢
69	齋藤 杏	横浜サクラスイミングスクール
70	須田 悠介	横浜市立港南中学校
71	盛田 めぐみ	チームヒルズ
72	小嶋 みなと	チームヒルズ
73	二條 実穂	株式会社シグママックス
74	欠端 瑛子	株式会社セガサミーホールディングス
75	早瀬 憲太郎	

(4) 優秀選手賞(団体)

著名な大会で優秀な成績を示したチーム

No.	団体	種目
1	朝飛道場	柔道
2	朝飛道場	柔道
3	横浜創英中学校バトン部Power's Can Can	バトン
4	横浜創英高等学校バトン部BRIGHTS	バトン
5	日本体育大学体操競技女子チーム	体操
6	横浜市代表チーム(メイジャーズ)	バスケットボール
7	横浜市立港南中学校水泳部	水泳
8	イトマンスイミングスクール港北	水泳

(5)スポーツ奨励賞(個人)

マスターズ選手権大会等において優秀な成績をあげた者

No.	氏名	種目
1	井田 幹夫	柔道
2	千葉 記位	柔道
3	佐藤 花月	空手道
4	吉川 剛志	テニス
5	岩里 弘子	テニス
6	渡邊 朋子	テニス
7	田中 正剛	テニス
8	片桐 万澄	水泳
9	新沼 茂樹	水泳
10	堀内 直	水泳
11	神谷 幸博	スポーツチャンバラ
12	本沢 豊	バドミントン
13	白垣 賢一	バドミントン
14	濱路 圭	バドミントン
15	渡辺 直人	バドミントン
16	小山 包博	バドミントン
17	小川 昌之	バドミントン
18	渡辺 眞智子	水泳
19	秋山 浩二	水泳
20	伊藤 篤	水泳
21	渡辺 功	水泳
22	橋本 裕正	水泳
23	小林 太郎	水泳
24	越智 義夫	水泳
25	畑中 浩和	水泳
26	矢野 睦男	水泳
27	小原 明德	水泳
28	横山 信幸	水泳
29	富田 健一	水泳
30	一木 真美子	水泳
31	渡邊 改三	水泳
32	池田 百合子	水泳
33	池田 正輝	水泳
34	吉村 華余	水泳

No.	氏名	種目
35	田窪 達	水泳
36	上野 勢津子	水泳
37	鴨下 美江子	水泳
38	坂上 優子	水泳
39	戸田 浩美	水泳
40	重川 瑞枝	水泳
41	仲丸 徹雄	水泳
42	松林 繁明	水泳
43	水落 律子	水泳
44	森 幸江	水泳
45	米沢 祥子	水泳
46	畔柳 美津子	水泳
47	高嶺 隆二	水泳
48	江波 久美子	水泳
49	小葉松 能理子	水泳
50	野島 久枝	水泳
51	鈴木 亜抄子	水泳
52	武井 麻知子	水泳
53	永瀬 秀子	水泳
54	高橋 葉子	陸上
55	水島 鉄雄	陸上
56	小松 春彦	陸上
57	笹目 修央	陸上
58	高木 岳彦	陸上
59	畠中 正司	陸上
60	藤岡 裕子	陸上
61	中川 篤志	陸上
62	小林 裕	陸上
63	山崎 真千子	陸上
64	古林 裕之	陸上
65	玄蕃 昌子	陸上
66	原間 裕	陸上
67	松本 伸一	陸上

(6)スポーツ奨励賞(団体)

マスターズ選手権大会等において優秀な成績を示したチーム

No.	氏名	種目
	該当者なし	

(7) 横浜スポーツ普及功労賞

地域においてスポーツの普及振興、又はスポーツクラブの育成のために寄与している者

No.	氏名	推薦団体
1	中園 守	神奈川区体育協会
2	野田 禎右	神奈川区体育協会
3	長島 一美	西区体育協会
4	廣瀬 洋子	西区体育協会
5	榎本 光雄	中区体育協会
6	岡 順二	南区体育協会
7	小野 正子	南区体育協会
8	宮野入 博	港南区体育協会
9	吉田 廣昭	港南区体育協会
10	佐藤 壽	保土ヶ谷区体育協会
11	関根 いせ子	保土ヶ谷区体育協会
12	若杉 修	旭区体育協会
13	郡 正男	旭区体育協会
14	保坂 勲	磯子区体育協会
15	植松 直一	磯子区体育協会

No.	氏名	推薦団体
16	白水 豊泰	港北区体育協会
17	渡邊 憲昭	緑区体育協会
18	森 啓子	緑区体育協会
19	高橋 善宣	青葉区体育協会
20	小野 和子	都筑区体育協会
21	高橋 元	都筑区体育協会
22	中野 貞生	戸塚区体育協会
23	原 寿樹	戸塚区体育協会
24	小比類巻 正喜	栄区体育協会
25	沼田 穂積	栄区体育協会
26	對馬 勝治	泉区体育協会
27	奥津 信義	泉区体育協会
28	宮崎 良雄	瀬谷区体育協会
29	早川 俊行	瀬谷区体育協会

13 平成28年度賛助会員（定款第45条関係）

（平成29年3月31日現在・敬称略）

●特別企業・団体会員（16団体）（1口：50,000円以上）

(有)旭屋	鹿島建物総合管理(株)	(株)共栄社	(株)キョーエーメック
(株)トーリツ	東日本電信電話(株)神奈川事業部	藤木企業(株)	藤木陸運(株)
(株)プロアバンセ	(株)横浜アーティスト	横浜エレベータ(株)	(一社)横浜サッカー協会
(株)横浜シミズ	(株)横浜スタジアム	(株)ロイヤルホール	

●企業・団体会員（81団体）（1口：10,000円以上）

(有)朝日スポーツセンターイシケンスポーツ瀬谷店	医療法人社団 阿部医院	(株)阿部鋼業	(株)安藤スポーツ
石井商事運輸(株)	(株)エイコープリント	(株)エイト	(有)エスク
沖縄ツーリスト(株)横浜支店	河原スポーツ	(株)環境造園	(有)関東化染工業所
(株)北原不動産	(株)崎陽軒	中華街桂宮	(株)栗田園
公益情報システム(株)	シティアクセス(株)	湘南建設(株)	陣体育運動具(株)
(株)新横浜ラーメン博物館	(株)スリーオークス	(株)センターグリル	太洋歯科クリニック

辻村商事(株)	東京体育用品(株)	(株)長野工務店	(株)ナセグリーンゴルフ
(株)ポートサイド印刷	(株)ホテル ニューグラ ンド	ベイ・タックス税理士法人	ホテルモントレ横浜
保土ヶ谷区体育協会	松宮整形外科	丸五運輸(株)	ミズノ(株)スポーツ施設 サービス営業部
港タクシー(株)	ミムラ工業(株)	(株)山野井	(公社)横浜インターナシ ヨナルテニスコミュニテ ィ
(公財)横浜観光コンベン ション・ビューロー	横浜市山岳協会	横浜市アーチェリー協会	横浜市合気道連盟
横浜市アマチュアボクシ ング協会	(一社)横浜市医師会	横浜市インディアカ協会	横浜市弓道協会
横浜市グラウンド・ゴルフ 協会	横浜市クレール射撃協会	横浜市ゲートボール連合	横浜市剣道連盟
横浜市柔道協会	横浜市少年野球連盟学 童部	横浜市少林寺拳法連盟	横浜市スポーツチャンバ ラ協会
横浜市体操協会	横浜市卓球協会	横浜市ダンススポーツ連 盟	横浜市テニス協会
横浜市なぎなた連盟	NPO法人横浜市馬術協会	横浜市バドミントン協会	横浜市婦人スポーツ団体 連絡協議会
横浜市ボウリング協会	横浜市ラグビーフット ボール協会	横浜市陸上競技協会	横浜信用金庫
(一社)横浜水泳協会	横浜スバル自動車(株)	横浜バスケットボール協 会	横浜ハンドボール協会
横浜野球協会	横浜野球連盟	(株)ラケットショップフ ジ	(株)ローズホテルズ・イン ターナショナル
六国建設(株)			

●特別個人会員(24名) (1口:10,000円以上)

尾島 良一	押山 勝實	加藤 宏子	河原 智
菊池 侃二	日下 啓二	五反田 哲哉	齊藤 禮二
柴田 武志	蕭 敬意	鈴木 元也	須藤 照彦
高井 祿郎	長井 文枝	南部 信治	濱 陽太郎
藤田 泰子	峯岸 晃三	宮武 俊弘	山口 憲一
山口 宏	李 玉華		

●個人会員（149名）（1口：3,000円以上）

相澤 一也	赤津 光昭	浅野 俊博	阿部 昭一
甘粕 完治	安藤 泰行	石井 和則	石井 清史
石島 孝志	井田 昌明	伊藤 隆介	井上 勇
岩井 茂	岩倉 憲男	岩本 博	宇田川 ユキ子
内田 渉	大河原 正生	太田 和彦	大辻 明
岡田 喜久雄	荻田 實	忍足 充	小野 琢司
斧 政男	貝道 和昭	片尾 周造	加藤 範義
加藤 弘	金児 忠枝	金児 英文	川口 俊行
河野 多恵子	川端 重義	菊池 佳代子	及能 茂道
工藤 司朗	國富 進	久保田 信義	黒崎 二男
小泉 隆志	小坂 恵美子	小柴 邦幸	齋藤 裕昭
三枝 勝巳	佐久間 尚志	佐藤 富美男	佐藤 義衛
椎名 一男	椎野 吉男	芝崎 正雄	清水 伸一
清水 鐵夫	白倉 常夫	陣 貞夫	菅谷 久夫
杉浦 紀子	杉山 郡啓	杉山 葉子	鈴木 栄一
鈴木 信太郎	鈴木 常夫	鈴木 信夫	鈴木 浩
鈴木 勝之	妹尾 愛子	高野 啓子	高橋 一男
高橋 利夫	高橋 正純	高見 勝貞	高嶺 隆二
高柳 和弘	武田 功大	武居 和子	田島 隆道
田中 義孝	塚越 正男	堤 文治	戸辺 克也
富岡 俊次	内藤 裕幸	中澤 百合子	永嶺 健治
永嶺 隆司	夏田 智子	菜花 好和	新村 一郎
西岡 健一	野口 隆	橋本 幹雄	長谷川 桂志
馬場 正徳	林 紘男	番 幸一	平岡 可奈之
廣瀬 正春	廣幡 素道	藤尾 不二枝	淵脇 建夫
堀内 芳子	本荘 淳一	前田 博之	牧 義一
松浦 隆	松澤 喜久	松澤 賢吉	丸山 隆
三浦 孝之	道下 修三	三ツ木 武	武藤 千恵子
村松 富夫	安田 恒雄	箭内 和夫	矢部 寛治
矢部 寛和	山崎 健志	山下 俊次	山野 純子
山村 徳男	湯原 露江	横関 久美子	吉井 由里子
吉川 勝	米田 裕信	渡辺 良雄	

※非公開希望の企業・団体、個人の氏名は掲載していません。

Ⅲ 資料（施設別月別利用状況）

スポーツセンター

栄公会堂

横浜文化体育館

平沼記念体育館

少年自然の家・青少年野外活動センター

日産スタジアム（新横浜公園）

三ツ沢公園

スポーツ医科学センター

横浜国際プール

屋外プール・屋内プール・鶴見川漕艇場

テニスガーデン・横浜みなとみらいスポーツパーク・たきがしら会館

神奈川スケートリンク

平成28年度 スポーツセンター 月別利用状況

(単位:人)

施設名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	1ヶ月当り	団体・個人別利用人数累計及び比率
札幌 スポーツセンター	団体数	588	610	620	660	547	618	626	631	515	548	595	623	7,181		団体 211,835 比率 69.3%
	個人人数	16,148	17,037	20,988	18,967	12,459	18,389	18,620	17,549	16,271	16,772	20,924	17,711	211,835		個人 93,683 比率 30.7%
	個人人数	8,125	8,681	7,952	8,367	8,662	8,075	8,100	7,187	6,059	6,059	7,186	8,253	93,683	25,460	計 305,518
	計	24,273	25,718	28,940	27,334	21,121	26,464	26,720	24,736	22,330	23,308	28,110	25,964	305,518		
	前年同期	25,997	24,231	23,645	24,488	18,200	26,106	25,318	24,220	21,514	24,613	23,802	25,263	287,397		
	前年同期比	93.4%	106.1%	122.4%	111.6%	116.0%	101.4%	105.6%	102.1%	103.8%	96.7%	96.7%	118.1%	102.8%	106.3%	団体平均 29.5
神奈川 スポーツセンター	団体数	603	622	617	644	621	623	643	618	571	564	582	644	7,352		団体 249,996 比率 81.6%
	個人人数	23,332	14,102	14,289	23,350	23,547	17,493	23,482	29,310	23,020	12,158	26,748	19,165	249,996		個人 56,450 比率 18.4%
	個人人数	4,686	5,297	4,928	4,615	5,091	4,751	4,548	4,096	4,126	4,252	4,673	5,387	56,450	25,537	計 306,446
	計	28,018	19,399	19,217	27,965	28,638	22,244	28,030	33,406	33,406	31,421	31,421	24,552	306,446		
	前年同期	29,111	19,413	19,527	25,482	30,912	24,199	29,830	22,641	25,340	16,852	25,174	20,615	289,096		
	前年同期比	96.2%	99.9%	98.4%	109.7%	92.6%	91.9%	94.0%	107.1%	107.1%	97.4%	124.8%	119.1%	106.6%	109.0%	団体平均 34.0
西 スポーツセンター	団体数	717	729	775	743	677	713	758	731	702	676	709	816	8,746		団体 155,536 比率 43.1%
	個人人数	11,888	11,506	13,636	14,339	11,373	13,004	15,837	12,963	12,715	11,701	11,986	14,588	155,536		個人 205,224 比率 56.9%
	個人人数	15,712	18,333	17,775	20,692	20,453	18,791	18,738	15,411	11,729	14,618	15,785	17,187	205,224	30,063	計 360,760
	計	27,600	29,839	31,411	35,031	31,826	31,795	34,575	28,374	24,444	26,319	27,771	31,775	360,760		
	前年同期	26,065	28,575	28,671	31,316	28,559	27,480	30,607	28,128	23,816	24,370	26,508	26,907	331,002		
	前年同期比	105.9%	104.4%	109.6%	111.9%	111.4%	115.7%	113.0%	100.9%	102.6%	104.8%	104.8%	104.8%	118.1%	109.0%	団体平均 17.8
中 スポーツセンター	団体数	625	611	634	632	600	647	668	648	585	573	604	659	7,486		団体 182,963 比率 72.9%
	個人人数	23,009	20,962	22,329	21,329	17,952	28,101	42,108	27,216	23,662	19,747	26,986	25,481	293,882		個人 68,033 比率 27.1%
	個人人数	6,218	6,882	6,159	6,872	6,600	6,055	6,439	5,715	5,555	6,141	6,207	6,166	75,009	31,158	計 373,891
	計	29,227	27,844	28,488	28,201	24,552	34,156	48,547	32,931	29,217	25,888	33,193	31,647	373,891		
	前年同期	25,934	27,297	27,023	23,461	30,488	23,055	42,921	27,984	27,573	26,453	27,246	31,347	340,782		
	前年同期比	112.7%	102.0%	105.4%	120.2%	80.5%	148.2%	113.1%	117.7%	106.0%	101.6%	111.7%	100.7%	100.7%	109.7%	団体平均 26.1
南 スポーツセンター	団体数	625	611	634	632	600	647	668	648	585	573	604	659	7,486		団体 298,882 比率 79.9%
	個人人数	23,009	20,962	22,329	21,329	17,952	28,101	42,108	27,216	23,662	19,747	26,986	25,481	293,882		個人 75,009 比率 20.1%
	個人人数	6,218	6,882	6,159	6,872	6,600	6,055	6,439	5,715	5,555	6,141	6,207	6,166	75,009	31,158	計 373,891
	計	29,227	27,844	28,488	28,201	24,552	34,156	48,547	32,931	29,217	25,888	33,193	31,647	373,891		
	前年同期	25,934	27,297	27,023	23,461	30,488	23,055	42,921	27,984	27,573	26,453	27,246	31,347	340,782		
	前年同期比	112.7%	102.0%	105.4%	120.2%	80.5%	148.2%	113.1%	117.7%	106.0%	101.6%	111.7%	100.7%	100.7%	109.7%	団体平均 39.9
港南 スポーツセンター	団体数	774	758	768	808	751	777	844	815	777	753	779	812	9,416		団体 260,190 比率 83.0%
	個人人数	25,299	18,918	16,739	28,384	19,381	21,752	27,652	21,052	19,545	22,766	20,407	18,295	260,190		個人 53,227 比率 17.0%
	個人人数	4,203	4,693	4,473	4,754	4,677	4,777	4,536	4,284	3,890	4,124	4,205	4,611	53,227	26,118	計 313,417
	計	29,502	23,611	21,212	33,138	24,058	26,529	32,188	25,336	23,435	26,890	24,612	22,906	313,417		
	前年同期	25,143	37,428	24,893	26,960	18,480	29,089	34,665	25,217	19,238	26,976	25,467	24,884	318,240		
	前年同期比	117.3%	63.1%	85.2%	122.9%	130.2%	91.2%	92.0%	100.5%	121.8%	99.7%	96.6%	92.8%	98.5%	98.5%	団体平均 27.6
保土ヶ谷 スポーツセンター	団体数	916	1,036	1,002	1,032	1,020	965	1,090	1,071	833	1,033	1,039	1,073	12,110		団体 274,866 比率 71.3%
	個人人数	17,453	21,324	20,412	30,800	22,919	26,056	37,439	22,072	18,926	16,499	22,640	18,326	274,866		個人 110,864 比率 28.7%
	個人人数	8,785	9,786	9,778	9,766	9,719	8,951	9,351	8,844	8,154	8,543	8,917	10,100	110,864	32,128	計 385,530
	計	26,208	31,110	30,190	40,566	32,638	35,007	46,790	30,916	27,080	31,557	28,426	29,996	385,530		
	前年同期	26,077	32,385	33,537	42,268	33,436	35,543	32,152	35,174	26,403	27,012	30,015	29,996	383,998		
	前年同期比	100.5%	96.1%	90.0%	96.0%	97.6%	98.5%	145.5%	87.9%	102.6%	94.8%	105.1%	94.8%	100.4%	100.4%	団体平均 22.7
旭 スポーツセンター	団体数	593	606	632	679	583	656	660	637	362	590	610	663	7,271		団体 183,008 比率 76.4%
	個人人数	13,604	17,202	16,876	14,096	13,672	22,320	14,069	18,075	7,901	14,727	16,274	18,208	183,008		個人 56,646 比率 23.6%
	個人人数	4,873	4,907	4,818	4,941	5,080	4,780	5,232	4,402	2,766	4,539	4,867	5,441	56,646	19,971	計 239,654
	計	18,477	22,109	21,694	19,037	18,752	27,100	19,301	22,477	10,667	19,266	21,141	19,633	239,654		
	前年同期	19,643	26,923	17,652	18,268	13,755	27,344	18,519	23,772	16,438	20,692	20,250	18,951	242,207		
	前年同期比	94.1%	82.1%	122.9%	104.2%	136.3%	99.1%	104.2%	94.6%	64.9%	93.1%	104.4%	103.6%	98.0%	98.0%	団体平均 25.2

磯子 スポーツセンタ-	団体	685	676	755	689	713	747	718	683	660	681	749	8,411	団体	261,691	比率	74.2%	
	人数	23,648	19,777	25,189	12,640	14,872	21,984	28,490	26,443	26,930	18,103	27,716	261,691	個人	90,787	比率	25.8%	
	個人	8,024	7,856	7,629	7,904	7,944	7,299	7,011	6,601	7,402	7,565	8,209	90,787	計	352,478			
	計	30,991	27,633	22,818	20,544	22,816	29,283	35,501	33,044	34,332	25,668	35,925	352,478	団体平均	31.1			
	前年同期比	22,508	22,511	29,607	28,068	21,747	25,472	24,911	33,326	19,534	33,283	31,672	24,748	317,587				
金沢 スポーツセンタ-	団体	569	541	612	473	585	628	591	527	531	558	602	6,806	団体	219,646	比率	74.6%	
	人数	12,739	15,155	17,700	30,430	14,484	19,187	16,385	19,917	14,078	15,882	18,804	219,646	個人	74,948	比率	25.4%	
	個人	6,086	6,657	6,417	6,222	6,640	6,241	6,523	5,656	5,218	5,640	6,370	74,948	計	294,594			
	計	18,825	21,812	24,117	37,152	31,545	25,710	22,041	25,195	19,718	22,232	25,882	294,594	団体平均	32.3			
	前年同期比	19,361	18,200	24,366	32,911	24,335	20,525	25,673	19,487	23,275	20,244	23,283	270,222					
緑 スポーツセンタ-	団体	571	609	661	597	613	673	624	561	568	591	641	7,348	団体	193,539	比率	72.8%	
	人数	13,915	17,531	17,340	10,148	15,955	18,506	18,825	13,759	13,951	19,591	18,942	193,539	個人	72,505	比率	27.3%	
	個人	6,041	6,223	5,745	6,716	6,167	6,084	5,921	5,380	5,537	6,083	6,814	72,505	計	266,044			
	計	19,956	23,754	23,085	16,864	22,122	24,560	24,746	19,119	19,488	25,644	25,656	266,044	団体平均	26.3			
	前年同期比	21,674	21,773	20,458	34,862	34,662	37,138	27,065	23,044	23,611	23,171	24,449	297,389					
都筑 スポーツセンタ-	団体	618	622	644	616	656	729	686	601	602	614	720	7,800	団体	185,801	比率	75.7%	
	人数	15,653	13,459	13,422	14,933	10,729	16,959	17,189	17,755	13,777	14,032	21,798	185,801	個人	59,669	比率	24.3%	
	個人	4,635	5,344	5,207	5,318	5,683	5,109	4,413	3,936	4,654	4,951	5,267	59,669	計	245,470			
	計	20,288	18,803	18,629	20,251	16,412	22,068	21,602	21,691	18,431	18,983	27,065	245,470	団体平均	23.8			
	前年同期比	21,281	20,682	18,499	20,967	18,693	22,237	20,922	19,789	18,373	17,414	19,056	21,234	239,147				
戸塚 スポーツセンタ-	団体	828	805	874	799	801	867	845	733	752	766	837	9,697	団体	297,389	比率	71.1%	
	人数	21,674	21,773	20,458	34,862	34,662	37,138	27,065	23,044	23,611	23,171	24,449	297,389	個人	120,639	比率	28.9%	
	個人	10,183	10,853	10,127	11,067	9,803	10,890	9,262	8,424	9,316	9,957	10,704	120,639	計	418,028			
	計	31,857	32,626	30,511	44,789	30,725	30,489	48,028	36,327	31,468	32,927	35,153	418,028	団体平均	30.7			
	前年同期比	30,184	31,852	29,842	32,277	29,906	29,412	36,328	41,082	30,473	28,340	37,500	38,982,9					
栗 スポーツセンタ-	団体	511	524	537	488	548	541	537	476	499	524	557	6,291	団体	224,579	比率	70.1%	
	人数	16,913	21,698	16,887	21,202	14,373	17,272	27,967	22,164	13,965	14,268	21,662	224,579	個人	95,664	比率	29.9%	
	個人	7,684	8,131	7,675	8,154	8,657	7,929	7,632	6,883	7,634	8,302	8,951	95,664	計	320,243			
	計	24,597	29,829	24,562	29,356	23,030	25,304	35,896	29,796	20,848	21,902	24,510	320,243	団体平均	35.7			
	前年同期比	23,488	27,365	22,693	28,627	23,906	22,188	30,450	33,611	19,838	22,863	26,187	25,427	306,643				
泉 スポーツセンタ-	団体	455	555	579	505	543	603	575	499	499	529	574	6,484	団体	243,581	比率	76.9%	
	人数	18,356	21,337	20,988	18,365	16,995	17,133	20,876	19,136	25,803	21,108	15,160	28,324	243,581	個人	73,291	比率	23.1%
	個人	5,573	6,139	5,656	5,950	6,385	6,518	5,822	5,445	5,588	6,507	7,143	73,291	計	316,872			
	計	23,929	27,476	26,644	24,315	23,560	23,518	27,394	24,958	31,248	26,696	21,667	35,467	316,872	団体平均	37.6		
	前年同期比	23,028	20,025	19,752	21,011	20,040	18,031	21,344	18,242	20,472	25,438	21,087	288,034					
瀬谷 スポーツセンタ-	団体	560	569	573	528	550	607	593	528	537	523	604	6,755	団体	192,058	比率	71.7%	
	人数	16,573	14,432	13,499	14,146	14,727	18,537	21,936	14,933	14,676	14,572	19,552	14,239	192,058	個人	75,976	比率	28.4%
	個人	6,455	7,046	6,402	6,303	6,736	6,351	5,898	5,650	5,796	5,866	6,858	75,976	計	268,034			
	計	23,028	21,478	19,901	21,121	20,882	21,322	24,888	27,834	20,583	20,472	25,438	21,087	288,034	団体平均	28.4		
	前年同期比	21,825	20,025	19,752	21,011	20,040	18,031	21,344	18,242	20,472	25,438	21,087	244,204					
合計	団体	10,178	10,463	10,642	10,008	10,575	11,310	10,947	9,463	9,936	10,314	11,211	126,175	団体	3,635,560	比率	72.6%	
	人数	283,022	274,986	277,127	337,874	257,185	293,476	374,491	337,913	297,883	273,144	309,080	319,389	3,635,560	個人	1,382,415	比率	27.6%
	個人	112,309	122,991	116,566	122,361	126,547	118,281	119,381	106,495	94,274	106,246	112,877	124,077	1,382,415	計	5,017,975		
	計	395,331	397,977	393,693	460,235	383,712	411,757	493,872	444,408	392,167	379,390	421,957	443,476	5,017,975	団体平均	28.8		
	前年同期比	335,511	356,207	337,468	376,378	330,248	353,182	392,940	381,698	307,461	330,225	357,196	349,601	4,208,115				
前年同期比	117.8%	111.7%	116.7%	116.2%	116.6%	125.7%	116.4%	127.6%	114.9%	118.1%	126.9%	119.2%	28.8					

平成28年度 栄公会堂 月別利用状況

(単位:人)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本館利用者数	8,562	7,624	11,829	16,036	10,904	13,311	18,406	19,477	11,757	10,886	14,532	13,945	157,269
文化系団体	6,915	5,731	10,118	7,296	8,522	8,672	14,350	12,401	9,150	6,390	5,270	9,754	104,569
スポーツ系団体	815	755	828	6,453	615	710	3,032	3,403	600	563	683	675	19,132
その他	832	1,138	883	2,287	1,767	3,929	1,024	3,673	2,007	3,933	8,579	3,516	33,568
ホワイエ(ロビー)	0	1,621	4,360	597	667	2,233	3,301	7,249	2,998	3,023	2,042	1,057	29,148
さんぽみち	150	163	248	206	214	162	410	519	340	176	316	400	3,304
合計	8,712	9,408	16,437	16,839	11,785	15,706	22,117	27,245	15,095	14,085	16,890	15,402	189,721

平成28年度 平沼記念体育館 月別利用状況

11月1日～12月15日の平日9時から17時まで体育室屋根補修工事のため部分休館

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
団体利用数	273	278	307	315	305	297	316	235	250	268	301	315	3,460
団体利用人数	9,859	10,239	12,864	16,512	10,665	14,668	15,751	9,538	9,695	11,247	10,608	10,198	141,844
個人利用人数(記念棟)	170	127	148	133	85	98	246	206	230	24	0	860	2,327
利用者数合計	10,029	10,366	13,012	16,645	10,750	14,766	15,997	9,744	9,925	11,271	10,608	11,058	144,171

平成28年度 横浜文化体育館 月別利用状況

(単位:人)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本館利用者数	28,333	29,837	34,154	41,194	47,416	23,795	24,338	32,943	22,245	23,870	24,552	39,981	372,658
スポーツ利用(興行除く)	20,854	21,139	26,754	19,594	17,156	15,035	12,688	28,099	17,815	20,446	11,932	30,001	241,513
文化利用(興行除く)	7,429	4,448	7,400	1,600	960	1,160	6,300	3,544	1,030	3,230	7,150	9,980	54,231
興行(スポーツ・文化)	50	4,250	0	20,000	29,300	7,600	5,350	1,300	3,400	194	5,470	0	76,914
平沼記念レストハウス利用者数	4,518	5,160	5,130	5,291	6,440	4,915	4,419	4,756	4,250	4,018	4,475	5,975	59,347
合計	32,851	34,997	39,284	46,485	53,856	28,710	28,757	37,699	26,495	27,888	29,027	45,956	432,005

平成28年度 少年自然の家・青少年野外活動センター 月別利用状況

(利用率=延人数/(開園日数×定員数)×100)

施設名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	昨年度累計	増減
南伊豆臨海学園	団体数	17	21	25	21	40	16	8	5	5	7	5	8	178	183	-5
	実人員	237	484	1,277	1,259	913	935	454	104	70	102	285	90	6,210	6,050	160
	延人員	484	1,175	3,470	3,679	3,239	2,657	901	161	178	276	460	251	16,931	16,657	274
	利用率	8.3%	19.6%	57.8%	59.3%	52.2%	44.3%	15.0%	2.7%	3.0%	4.6%	8.5%	4.2%	—	—	—
赤城林間学園	団体数	42	42	44	44	45	17	18	10	18	9	15	17	321	398	-77
	実人員	1,700	1,942	2,575	1,762	2,150	924	927	302	401	58	202	337	13,280	13,952	-672
	延人員	3,751	5,377	7,121	4,597	7,077	2,624	2,241	356	904	120	420	804	35,392	37,318	-1,926
	利用率	32.3%	44.8%	61.4%	38.3%	57.1%	22.6%	18.7%	3.1%	7.5%	1.0%	3.9%	6.7%	—	—	—
三ツ沢野外活動センター	団体数	107	102	114	130	110	94	93	87	92	70	83	118	1,200	1,148	52
	実人員	1,895	1,914	1,725	2,272	2,813	1,955	2,546	1,586	2,183	1,264	1,310	2,213	23,676	20,872	2,804
	延人員	2,182	2,227	1,987	3,236	4,222	2,389	2,953	1,849	2,590	1,442	1,525	2,787	29,389	26,364	3,025
	利用率	50.2%	49.5%	45.7%	71.9%	90.8%	54.9%	63.5%	42.5%	64.0%	34.3%	37.7%	61.9%	—	—	—
くろがね野外活動センター	団体数	108	95	105	104	72	95	106	110	99	88	95	121	1,198	1,254	-56
	実人員	1,513	1,362	1,896	2,015	1,245	1,186	1,993	1,419	1,569	1,393	1,523	2,110	19,224	18,986	238
	延人員	1,633	1,394	2,004	2,503	1,777	1,297	2,169	1,486	1,724	1,447	1,593	2,543	21,570	21,598	-28
	利用率	108.9%	92.9%	133.6%	161.5%	114.6%	86.5%	139.9%	99.1%	123.1%	103.4%	113.8%	164.1%	—	—	—
こども自然公園センター	団体数	62	101	70	88	101	70	89	77	66	67	73	94	958	1,012	-54
	実人員	1,208	2,786	2,191	2,512	3,384	2,510	2,027	2,776	1,279	1,102	1,019	2,288	25,082	25,672	-590
	延人員	1,626	3,111	3,072	3,911	5,238	3,265	2,536	3,108	1,508	1,234	1,223	3,151	32,983	35,248	-2,265
	利用率	37.4%	69.1%	68.3%	84.1%	112.6%	72.6%	54.5%	69.1%	35.9%	30.5%	29.1%	67.8%	—	—	—
合計	団体数	336	361	358	387	368	292	314	289	280	241	271	358	3,855	3,995	-140
	実人員	6,553	8,488	9,664	9,820	10,505	7,510	7,947	6,187	5,502	3,919	4,339	7,038	87,472	85,532	1,940
	延人員	9,676	13,284	17,654	17,926	21,553	12,232	10,800	6,960	6,904	4,519	5,221	9,536	136,265	137,185	-920

平成28年度 日産スタジアム(新横浜公園) 月別利用状況

	日産スタジアム						日産ウォーターパーク			日産フィールド小机		北側園地						来場者 総合計				
	大会・ イベント 入場者数	教室	ウェディング	トラック 個人 利用者数	ワールドカップ スタジアム ツアー (人数)	視察・ 体験学習 (人数)	利用者数			大会・ イベント 入場者数	トラック 個人 利用者数	投てき 練習場	野球場	運動 広場1	運動 広場2	球技場 (H27年度 ~)	テニス コート		しんよこ フットボル パーク	ドッグラン	フリー マーケット	無料施設 (イベント 利用)
							大人	小人	計													
4月	90,372	609	0	1,900	148	110	4,396	4,849	9,245	3,412	197	1,443	1,202	1,471	877	997	6,487	6,758	2,399	36,000	788	164,415
5月	114,561	918	0	897	359	59	6,831	8,026	14,857	5,513	0	1,636	1,418	2,342	979	588	7,403	8,402	4,005	43,000	952	207,889
6月	76,100	1,103	0	940	221	124	7,088	8,797	15,885	2,414	0	2,033	1,289	1,795	793	1,065	6,774	9,536	2,680	35,000	1,108	158,860
7月	200,124	445	50	374	110	116	14,236	16,918	31,154	2,085	0	2,239	1,321	2,420	1,056	1,067	5,808	8,106	2,810	31,000	1,126	291,411
8月	241,019	179	0	915	33	45	20,069	20,905	40,974	3,355	0	926	836	1,495	384	685	4,998	5,074	1,802	0	11,655	314,375
9月	37,333	996	0	2,826	213	245	8,710	8,547	17,257	2,352	0	1,069	315	72	107	0	5,205	7,805	2,216	20,000	1,168	99,179
10月	148,061	1,100	50	1,561	144	18	4,417	4,491	8,908	4,815	0	1,671	1,112	1,625	825	869	7,111	8,603	3,889	80,000	221,207	491,569
11月	20,600	993	0	1,328	226	69	3,163	3,275	6,438	3,676	0	1,766	753	1,043	783	347	6,457	8,087	3,666	28,000	1,065	85,297
12月	181,961	385	0	132	70	6	2,511	2,444	4,955	1,749	0	1,239	318	1,275	425	340	6,249	5,203	3,524	20,000	782	228,613
1月	31,756	599	0	1,041	211	85	3,050	3,037	6,087	1,998	617	982	0	1,227	0	640	4,774	6,849	3,558	17,000	5,500	82,924
2月	96,722	574	0	623	88	228			0	1,313	1,288	1,233	0	1,230	0	435	4,666	7,305	3,293	35,000	1,902	155,900
3月	20,290	615	0	2,397	135	58	3,135	3,686	6,821	3,015	1,012	1,863	662	985	655	837	6,314	8,221	3,734	30,000	419	88,033
合計	1,258,899	8,516	100	14,934	1,958	1,163	77,606	84,975	162,581	35,697	3,114	18,100	9,226	16,980	6,884	7,870	72,246	89,949	37,576	375,000	247,672	2,368,465
利用 日数	133	112	2	60	95	49			305	250	10	158	158	166	77	141	338	356	206	21	223	

大会・イベント利用日数には「練習日」・「設営・撤収等日数」も加算

平成28年度 ニッパツ三ツ沢球技場・陸上競技場・補助競技場・馬術練習場利用実績

・ニッパツ三ツ沢球技場

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用日数	12	8	10	11	8	6	7	8	5	9	6	5	95
大会等利用日数	12	8	10	11	8	6	7	8	5	9	6	5	95
プロサッカー(国際)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロサッカー(J)	3	2	3	5	3	3	3	3	0	0	1	4	30
アマサッカー(N)	4	3	4	3	2	0	1	0	0	0	0	0	17
アマサッカー	3	3	2	2	3	1	0	1	1	5	4	0	25
ラグビー	2	0	0	0	0	2	2	3	0	4	0	1	14
その他	0	0	1	1	0	0	1	1	4	0	1	0	9
設置・撤収等日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
視察・体験学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入場者数	25,049	19,906	15,994	27,304	29,655	17,927	14,805	24,058	8,038	5,171	13,839	23,268	225,014
大会等入場者数	25,049	19,906	15,994	27,304	29,655	17,927	14,805	24,058	8,038	5,171	13,839	23,268	225,014
視察・体験学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

・三ツ沢陸上競技場

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用日数	16	20	16	21	30	30	24	24	23	17	21	21	263
大会等利用日数	13	16	11	17	28	26	22	22	23	13	20	20	231
教室日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個人利用日数	3	4	5	4	2	4	2	2	0	4	1	1	32
入場者数	17,123	16,528	18,300	21,309	31,919	34,364	10,311	4,749	4,764	2,435	10,421	6,574	178,797
大会等入場者数	17,100	16,481	18,153	21,235	31,883	34,068	10,243	4,705	4,764	2,415	10,414	6,372	177,833
教室人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個人利用	23	47	147	74	36	296	68	44	0	20	7	202	964

・補助競技場

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用日数	14	16	13	14	10	7	14	12	7	0	6	15	128
大会等利用日数	10	10	6	8	6	3	8	8	3	0	0	4	66
教室日数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
個人利用日数	4	6	7	6	4	4	6	3	4	0	6	11	61
入場者数	281	3,293	1,278	775	196	834	1,967	2,779	529	0	93	788	12,813
大会等入場者数	260	3,267	1,225	579	165	815	1,929	2,570	440	0	0	650	11,900
教室人数	0	0	0	0	0	0	0	200	0	0	0	0	200
個人利用	21	26	53	196	31	19	38	9	89	0	93	138	713

・馬術練習場

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用日数	26	26	26	26	26	26	26	26	27	26	24	27	312
利用日数	26	26	26	26	26	26	26	26	27	26	24	27	312
入場者数	1,100	1,183	980	1,022	809	905	1,070	1,041	1,119	1,107	1,077	1,155	12,568
一般利用	764	861	752	840	716	748	803	815	855	846	756	920	9,676
大会等利用	75	81	0	0	0	0	118	0	0	0	0	0	274
団体利用	124	89	109	118	17	102	94	100	114	101	189	100	1,257
自主事業	137	152	119	64	76	55	55	126	150	160	132	135	1,361
施設利用者数合計	43,553	40,910	36,552	50,410	62,579	54,030	28,153	32,627	14,450	8,713	25,430	31,785	429,192
(A+B+C+D)													

平成28年度 スポーツ医科学センター 月別利用状況

(単位:人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
指定管理事業													
スポーツプログラムサービス	195	140	146	151	113	77	96	116	127	157	111	271	1,700
一般	52	53	84	48	52	48	58	61	56	92	31	88	723
高齢者・障害者	21	42	38	45	21	27	36	55	43	39	38	42	447
ジュニア	122	41	8	4	25	2	2	0	27	26	42	141	440
その他	0	4	16	54	15	0	0	0	1	0	0	0	90
スポーツ外来・リハビリテーション	6,585	6,238	7,133	6,666	6,992	6,778	7,401	6,781	6,608	6,569	6,591	7,630	81,972
内科	284	272	311	301	297	281	380	397	332	301	291	306	3,753
内科外来	276	258	302	298	288	264	302	265	272	287	268	273	3,353
内科自費診療	8	14	9	3	9	17	78	132	60	14	23	33	400
特定保健指導	0	0	0	0	0	0	28	4	6	7	4	5	54
整形外科	1,606	1,618	1,743	1,623	1,772	1,634	1,792	1,586	1,595	1,568	1,501	1,784	19,822
整形外科系運動療法	3,356	3,107	3,613	3,382	3,624	3,558	3,906	3,676	3,601	3,567	3,635	4,241	43,266
MEC(メディカルエクササイズコース)	1,339	1,241	1,466	1,360	1,299	1,305	1,295	1,118	1,074	1,126	1,160	1,294	15,077
施設利用	9,904	10,982	12,000	11,515	13,332	10,359	12,021	9,651	8,860	9,874	10,349	11,475	130,322
アリーナ	3,340	3,060	2,656	3,466	2,537	2,746	3,001	2,883	2,997	3,767	2,436	2,177	35,066
研修室・会議室	3,632	4,597	6,002	4,083	4,765	4,060	5,450	3,823	3,442	3,138	4,947	6,268	54,207
プール	1,462	1,781	1,718	2,212	4,417	1,911	1,889	1,547	1,018	1,484	1,499	1,491	22,429
トレーニングルーム	1,470	1,544	1,624	1,754	1,613	1,642	1,681	1,398	1,403	1,485	1,467	1,539	18,620
講座・講演(指導者養成)	0	0	650	0	0	0	0	69	0	0	50	0	769
指定管理事業計	16,684	17,360	19,929	18,332	20,437	17,214	19,518	16,617	15,595	16,600	17,101	19,376	214,763
自主事業													
アスリート	350	203	269	252	1,085	274	491	558	855	514	362	581	5,794
フォロー事業	5,715	5,728	5,682	5,478	4,966	6,184	5,899	5,134	4,820	5,286	3,914	5,769	64,575
教室・イベント事業	1,024	1,081	937	1,244	1,022	916	2,183	1,207	828	1,086	1,134	1,132	13,794
その他	350	350	100	750	0	0	1,340	1,070	115	20	83	40	4,218
自主事業計	7,439	7,362	6,988	7,724	7,073	7,374	9,913	7,969	6,618	6,906	5,493	7,522	88,381
合 計	24,123	24,722	26,917	26,056	27,510	24,588	29,431	24,586	22,213	23,506	22,594	26,898	303,144

【参考数値】

ライブラリー・展示室等	9,027	8,034	8,998	10,304	11,573	7,380	8,181	6,955	5,365	8,168	6,122	9,857	99,964
ギャラリー	6,672	6,165	6,996	7,100	7,902	6,676	7,158	6,300	4,056	7,169	4,972	8,238	79,404
合計	15,699	14,199	15,994	17,404	19,475	14,056	15,339	13,255	9,421	15,337	11,094	18,095	179,368

【利用者層合計】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
39,822	38,921	42,911	43,460	46,985	38,644	44,770	37,841	31,634	38,843	33,688	44,993	482,512

平成28年度 テニスガーデン 月別利用状況

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
緑 テニスガーデン	コート貸し利用者	2,520	3,745	2,538	2,673	1,896	1,914	2,838	2,387	2,773	2,447	2,480	30,891
	教室利用者	1,566	1,709	1,662	1,285	755	1,202	1,809	1,573	1,680	1,708	1,507	18,113
	大会等	162	138	71	56	160	56	89	184	87	134	93	1,337
	小計	4,248	5,592	4,271	4,014	2,811	3,172	4,736	4,144	4,540	4,289	4,080	50,341
根岸 テニスガーデン	コート貸し利用者	2,079	3,144	1,155	0	0	690	2,286	2,025	1,936	2,087	40	16,886
	教室利用者	3,442	3,812	4,172	3,824	3,512	3,956	4,022	3,905	3,740	3,600	3,729	46,023
	大会等	19	26	0	0	39	8	31	110	131	112	2	528
	小計	5,540	6,982	5,327	3,824	3,551	4,654	6,339	6,040	5,807	5,799	3,771	63,437
泉中央 テニスガーデン	コート貸し利用者	2,044	2,116	1,916	1,600	868	1,231	2,086	2,126	1,454	2,028	1,650	20,990
	教室利用者	1,510	1,603	1,552	1,277	751	912	1,621	1,434	1,313	1,509	1,507	16,707
	大会等	320	503	292	592	494	314	469	469	567	451	468	5,442
	小計	3,874	4,222	3,760	3,469	2,113	2,457	4,176	4,029	3,334	3,988	3,625	42,539
テニス 計	コート貸し利用者	6,643	9,005	5,609	4,273	2,764	3,835	7,210	6,538	6,163	6,562	4,170	68,167
	教室利用者	6,518	7,124	7,386	6,386	5,018	6,070	7,452	6,912	6,733	6,817	6,743	80,843
	大会等	501	667	363	648	693	378	589	763	785	697	563	7,307
	テニス合計	13,662	16,796	13,358	11,307	8,475	10,283	15,251	14,213	13,681	14,076	11,476	13,739

平成28年度 みなとみらいスポーツパーク 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用人数 (フィールド)	0	4,953	21,758	12,874	138,003	22,313	25,212	36,738	17,389	35,266	6,957	29,563	351,026
利用人数 (会議室)	0	1,453	2,818	1,224	3,788	1,542	2,435	6,707	1,113	3,876	270	2,601	27,827
利用人数 (ランステ)	0	144	174	201	218	227	366	286	231	261	255	209	2,572
合計	0	6,550	24,750	14,299	142,009	24,082	28,013	43,731	18,733	39,403	7,482	32,373	381,425

※5月1日より暫定運営、6月11日よりサブフィールド追加運営

平成28年度 たきがしら会館 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用団体数	462	447	459	592	485	537	554	576	480	447	503	566	6,108
利用者数	6,576	6,440	10,870	10,367	7,607	8,519	10,010	12,509	8,357	6,576	7,751	20,794	116,376
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

平成28年度 神奈川スケートリンク 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般利用 (個人フリー滑走)	5,797	6,831	4,967	5,558	4,990	3,885	3,943	5,033	11,725	15,894	10,718	10,465	89,806
一般利用 (団体)	321	369	948	729	2,348	526	1,407	1,751	2,104	2,487	2,822	2,285	18,097
教室参加者	8,481	8,910	8,803	13,238	8,407	10,414	10,224	10,327	12,720	10,116	10,357	12,117	124,114
貸切利用	6,281	7,631	8,102	5,890	5,514	3,953	3,850	3,746	3,969	3,173	3,672	4,547	60,328
計	20,880	23,741	22,820	25,415	21,259	18,778	19,424	20,857	30,518	31,670	27,569	29,414	292,345

公益財団法人横浜市体育協会

〒231-0015

横浜市中区尾上町6丁目81番地

ニッセイ横浜尾上町ビル内

TEL 045-640-0011(代表)

FAX 045-640-0021

URL <http://www2.yspc.or.jp/ysa>